

稻垣重義 (愛知) 永原輝雄 (東京) 關敬一郎 (福島) 瀧谷源四郎 (北海道)
 伊東義助 (東京) 小原大三郎 (千葉) 柴野護夫 (新潟) 寺坂亮一 (岡山)
 古閑元雄 (熊本) 齋藤吉之助 (福岡) 清水吉郎 (東京) 浦野靜枝 (群馬)
 向井四郎 (福岡) 佐々木二三 (山口) 杉田正 (埼玉) 吉竹貞治 (兵庫)

湯山昇 (愛知) 大正十年三月第二十二回文科卒業者 (二人)
 (廿五人) (ABC順)

橋本義雄 (東京) 近藤幹 (埼玉) 野口良生 (福岡) 高木喜平治 (岡山)
 平山貞齋 (栃木) 栗野鷹二 (静岡) 岡部計二 (富山) 田尻泰 (鹿児島)
 市瀬八郎 (長野) 萬年清一 (静岡) 岡本鏡 (東京) 土屋波平 (山梨)
 石井正隆 (福島) 松原久義 (愛媛) 大内義見 (宮城) 山崎信夫 (高知)
 川口市次 (鹿児島) 中村俊夫 (新潟) 佐久間康治 (愛知)
 木下輝一 (新潟) 成瀬藤藏 (静岡) 鈴木甚助 (新潟)
 駒井巖 (山梨) 那須野秀 (福島) 田部井久彌 (栃木)

大正十一年三月第二十三回貿易科卒業者 (二十九名) (ABC順)

×福田稔 (埼玉) 福島伊平 (群馬) 秦義雄 (福岡) 服部克巳 (熊本)

引田哲一郎 (鳥取) 兒玉憲吉 (宮崎) 小田武夫 (新潟) 高世俊作 (神奈川)
 廣川汕吉 (佐賀) 久住悌三 (埼玉) 岡崎英三郎 (岡山) 梅谷敏雄 (静岡)
 廣野益二郎 (京都) 三科政雄 (山梨) 尾島三郎 (栃木) 山本登 (愛媛)
 堀内正名 (山梨) 三谷廣通 (島根) 大澤重英 (長野) 吉田祐造 (新潟)
 伊藤正 (福島) 森脇國男 (大分) 太田致 (大分)
 寛三郎 (千葉) ×野上樽義 (大分) 佐藤駒吉 (山形)
 川井秀夫 (山梨) 野村忠義 (石川) 鈴木要太郎 (千葉)

蒙古語學科

大正三年三月第一回卒業生 (三人) (成績順)

菊竹實藏 (福岡) — ×佐々木一郎 (秋田) — 佐藤富江 (福島)

大正六年三月第二回卒業生 (七人) (成績順)

三原増水 (福岡) — 大島 清 (佐賀) — 三森七郎 (福島) — 佐々木孝三郎 (宮城)

齋藤藤作 (新潟) — 鶴田米明 (神奈川) — 及川三男 (宮城)

大正八年第三回卒業生 (九人) (成績順)

松本軍三 (栃木) — 田口 實 (佐賀) — 野口秋利 (長崎)

五百木 元 (愛媛) — 上野一郎 (岡山) — 金久一惠 (徳島)

佐藤徳三郎 (東京) — 渡邊賢治 (神奈川) — 栗原悦司 (群馬)

大正十年三月第四回貿易科卒業生 (四人) (ABC順)

安藤松太郎 (神奈川) — 松尾梯次 (東京) — 中根直介 (東京) — 田村菅八 (群馬)

○ 羅語學科

大正三年三月第一回卒業生 (四人) (成績順)

大河 薫 (京都) — 服部繁松 (静岡) — 堀 亮一 (和歌山) — 池田林儀 (秋田)

大正五年三月第二回卒業生 (四人) (成績順)

佐藤致孝 (東京) — 鈴木清光 (埼玉) — 小倉 直 (鹿児島) — ×石神正實 (東京)

馬來語學科

大正三年三月第一回卒業生 (十人)

(成績順)

望月五一 (山梨)

鈴木一夫 (東京)

寺町文男 (東京)

別所直尋 (宮城)

岡村治 (静岡)

×守田茂人 (福岡)

岡田丈夫 (神奈川)

高松正章 (東京)

×末廣義男 (岡山)

鳥山孝一 (山形)

大正五年三月第二回卒業生 (五人)

(成績順)

上原訓藏 (熊本)

日夏雅一 (東京)

永田源三郎 (福岡)

高田成義 (石川)

越智有 (愛媛)

大正七年三月第三回卒業生 (十人)

(成績順)

齊藤榮三郎 (新潟)

宮本純孝 (石川)

園田顯家 (山形)

小菅擴治 (東京)

土屋擴 (長野)

小笠原牧四郎 (福井)

竹内三郎 (東京)

篠田昌忠 (愛知)

篠原弘 (北海道)

原朝義 (山梨)

大正九年三月第四回卒業生 (十四人)

(ABC順)

赤岡孝雄 (長野)

三好俊吉郎 (福岡)

大山廣利 (鹿兒島)

渡邊敏治 (福島)

知念昌永 (沖繩)

森脇一美 (島根)

小澤顯夫 (山梨)

米村正二 (熊本)

花村馨 (廣島)

小田靜穗 (静岡)

塚本五郎 (静岡)

早川忍 (島根)

×大儀見正 (東京)

上野廣 (茨城)

大正十一年三月第五回貿易科卒業生

(五名)

(ABC順)

堀田操 (東京)

野澤佐助 (新潟)

關三千藏 (東京)

木藤重義 (鹿兒島)

岡本精一 (東京)

(五名)

大正十一年三月第五回拓殖科卒業生

(五名)

(ABC順)

藤掛藤吉 (栃木)

小林泰 (福岡)

山下九内 (滋賀)

加藤三郎 (宮城)

岡宮直香 (兵庫)

ヒンドスタニー語學科

大正三年三月第一回卒業生 (四人)

戸谷貞雄 (東京) 小川正 (静岡)

(成績順)

池田辰夫 (東京)

高橋温 (東京)

大正五年三月第二回卒業生 (五人)

横地憲和 (静岡) 安藤芳平 (埼玉)

(成績順)

青木保次郎 (東京)

乾彦一 (京都) 水口百龜 (神奈川)

大正七年三月第三回卒業生 (五人)

(成績順)

高瀬笹一 (兵庫)

高橋盛雄 (廣島) 中山活宗 (石川)

大正九年三月第四回卒業生 (八人)

(ABC順)

末岡明治 (東京)

瀧島千代雄 (埼玉)

上村吉太郎 (北海道) 三上健三 (埼玉)

武川安宅 (神奈川)

田中五雄 (東京)

大正十一年三月第五回貿易科卒業生 (十一人)

(ABC順)

大西雅雄 (兵庫)

武田幸太郎 (岡山)

江畑誠一 (千葉) 井上準 (鳥取)

佐野一二三 (宮城)

谷田貝泰一郎 (栃木)

飯田四郎 (埼玉) 水野松男 (埼玉)

高松定一郎 (東京)

浦川喜一 (大阪) 大正十一年三月第五回拓殖科卒業生 (二人)

朝鮮語學科

(舊稱韓語學科 明治四十四年一月改稱)

明治三十三年七月第一回卒業生 (三人) (いろは順)

本田 存 (東京) 山口 有信 (愛知) ×重嶺 一祐 (山口)

明治三十四年七月第二回卒業生 (四人) (いろは順)

西田 禎一 (大分) 加藤 勝之助 (愛知) 江崎 精一 (愛知)

明治三十五年七月第三回卒業生 (九人) (いろは順)

伊東 四郎 (東京) 榎村 武雄 (茨城) 山本 恒太郎 (東京)

石崎 資孝 (栃木) ×多田 謙三 (長野) 秋吉 英三 (東京)

×小野 雄志 (岡山) ×國方 章二 (香川) 木下 蕃 (福井)

選科修了生 (二人)

上田 順一郎 (京都)

明治三十六年七月第四回卒業生 (一人)

藤戸 計太 (長崎)

明治三十七年七月第五回卒業生 (三人) (いろは順)

本多 寛三 (福井) 河野 小七郎 (佐賀) 天谷 操 (東京)

明治三十八年二月第六回卒業生 (六人) (いろは順)

堀江 三郎 (佐賀) 曲 圭馬 (福岡) 岸本 徳三郎 (兵庫)

武間 卓一 (兵庫) 天海 良之 (埼玉) ×末 永健一 (東京)

明治三十八年六月第六回卒業生 (二人) (いろは順)

村上 安造 (東京) 近藤 信一 (千葉)

明治三十八年七月第六回卒業生 (二人) (いろは順)

渡邊 倉藏 (福島) 島田 慶三郎 (東京)

選科修了生 (二人)

中島 直吉 (静岡)

明治三十九年七月第七回卒業生 (十二人) (いろは順)

×岩 倉 一 (宮崎) 岡崎 進 (高知) 井手 貞吉 (福岡)

堀 佐太郎 (大阪) 和田 喜一郎 (京都) 大久保 清 (静岡)

遠山 佑吉 (東京) 玉木 良 (山梨) 松尾 辰一 (佐賀)

選科修了生 (二人)

石橋 義雄 (神奈川)

明治四十年三月第八回卒業生 (十六人) (いろは順)

相川 靈瑞 (石川)
森山 靜造 (東京)
須永 茂平 (栃木)

本科卒業生 朝鮮語學科

一九四

市川安之進 (三重)	高岡宣次 (東京)	松谷讓 (佐賀)	赤司勳一 (佐賀)
加藤顯一 (廣島)	高木國則 (茨城)	間宮龍真 (島根)	齋藤助昇 (山梨)
龜山猛治 (北海道)	武原周之助 (神奈川)	萬田新太郎 (東京)	岸川直吉 (佐賀)
鴨川清十郎 (長崎)	大和田矯 (宮城)	×青山武男 (群馬)	杉浦齊 (静岡)
明治四十一年三月第九回卒業生 (十四人) (いろは順)			
岡田勝利 (愛知)	瀧山靖次郎 (長崎)	古内義 (茨城)	芝崎路可 (東京)
×小田切萬吉 (廣島)	栗田作四郎 (静岡)	北村薩雄 (東京)	關原二男 (山形)
橫山英志 (鹿兒島)	×功刀孝義 (山梨)	木村善淳 (三重)	
田川長次郎 (長崎)	山田寛治 (新潟)	三好六藏 (香川)	
明治四十二年三月第十回卒業生 (十人) (いろは順)			
伊地知直七 (鹿兒島)	瀧口亮造 (福岡)	×松美己之吉 (石川)	×淺香武夫 (福岡)
西村洪治 (大阪)	猪俣富士雄 (鹿兒島)	藤井亥之助 (大阪)	
岡田榮 (廣島)	保田正昇 (東京)	荒谷厚三 (秋田)	
選科修了生 (二人)			
野澤寛一 (新潟)			
明治四十三年三月第十一回卒業生 (二人) (いろは順)			
西村眞太郎 (兵庫)	依田貞美 (東京)		

山本外治 (石川)	寺田常治 (茨城)	黒澤小二郎 (千葉)	齋藤浩 (東京)
奥山仙三 (秋田)	金子正潔 (三重)	川浪淳平 (佐賀)	
明治四十四年三月第十二回卒業生 (七人) (成績順)			
田川忠信 (島根)	津山辨一 (大阪)	萩谷二郎 (茨城)	
小田毅 (長崎)	佐藤徳太郎 (新潟)	村上耻己 (長崎)	
扇昌夫 (長崎)	茂手木知貞 (山梨)	淺野保之 (東京)	
明治四十五年三月第十三回卒業生 (九人) (成績順)			
大正二年三月第十四回卒業生 (七人) (成績順)			
×太中隆四郎 (鳥取)	水野昇 (長崎)	福永市次 (熊本)	仁位豊 (長崎)
清水兵三 (島根)	山田俊夫 (山形)	二藤部行義 (山形)	
大正三年三月第十五回卒業生 (六人) (成績順)			
上村宇多彌 (東京)	小坂部蘊 (新潟)	立山彦熊 (鹿兒島)	
木内忠雄 (東京)	石川重次 (福島)	山本正誠 (茨城)	
大正四年三月十六回卒業生 (六人) (成績順)			
愛甲武雄 (熊本)	塚田康 (茨城)	小林文藏 (宮城)	
袴塚稔 (茨城)	高橋阿久次郎 (東京)	中川英一 (茨城)	

本科卒業生 朝鮮語學科

一九五

選科修了生 (二人)

村山正夫 (千葉)

大正六年三月第十七回卒業生 (七人)

(成績順)

鈴木伊佐勇 (福島)

島田一郎 (廣島)

柴田秀雄 (東京)

長野 達 (東京)

上原保義 (東京)

筒井治明 (高知)

川尻 忠 (秋田)

大正七年三月第十八回卒業生 (四人)

(成績順)

大竹晴雄 (福島)

油下恭之助 (茨城)

藤松常三郎 (佐賀)

武藤 俊 (茨城)

本科卒業生職業別

(七月三十日調)

職業等	語學科													
	英	佛	獨	露	伊	西	葡	支那	蒙古	暹羅	馬來	印度	朝鮮	計
專門學校	九	一六	八	二	一	六	二	六			三	二		四五
陸海軍諸學校	二	二	七	四										一九
中學校	二九	二	四											三四
實業學校	六	八	一	四	一	一	一	一						九三
其他講習會校	二	五	八	五										五四
內國官廳	三	九	五	五	七	一	三	五						五五
大使館公使館	一	六	四	六	一	三	二	二						二五
領事館	二	三	六	一	四	五	九	四						四九
總督府都督府	一	三	六	二	四	三	六	六						三三
會社	二	九	五	一	一	三	一	一						二七
商店	二	三	一	二	一	二	二	二						一五
實業	四	三	二	八	二	八	六	六						六六
修業	二	三	二	二		六	九	二						七九
兵役	五	三	二	五		七	六	六						三〇
死亡	四	三	二	三		三	六	二						二三
雜計	五	七	七	六	三	六	五	八	三	九	七	三	二	四八
計	三九	三八	三五	三七	六九	二四	九	四三	三	八	四九	三四	二〇	二六三

陸海軍委託選科修了生

陸海軍委託選科修了生 (成績順)

英語學科

大正六年三月修了生 (五人)

海軍 尾崎 主税 (東京) 陸軍歩 荒井 榮之助 (福島) 陸軍歩 吉本 萬壽藏 (和歌山)

陸軍歩 中川 清 (福岡) 陸軍二 松村 幌 (和歌山)

大正七年三月修了生 (四人)

陸軍工 月館 善吉 (青森) 陸軍二 江口 盛一 (愛知) 陸軍歩 中村 次喜藏 (福岡) 陸軍砲 木村 鼎 (島根)

大正八年三月修了生 (四人)

陸軍砲 鍋島 陸耶 (東京) 陸軍歩 江本 茂夫 (德島) 陸軍歩 竹中 英治 (東京) 陸軍騎 角田 啓輔 (千葉)

大正九年三月修了生 (五人)

陸軍歩 中島 敏男 (佐賀) 陸軍歩 坂口 雅夫 (熊本) 陸軍歩 坂田 徹治 (靜岡)

陸軍二 八木 光三 (兵庫) 陸軍 齋吉田 景三 (大阪)

大正十一年三月修了生 (二名) (ABC順)

陸軍歩 人見 幹雄 (岡山) 陸軍砲 田村 浩 (廣島)

佛語學科

明治四十五年三月修了生 (一人)

海軍 櫻井 繁 (東京)

大正二年三月修了生 (一人)

海軍主 長田 正義 (長野)

大正六年三月修了生 (三人)

陸軍歩 飯村 穰 (茨城) 陸軍歩 伴 錦次 (岡山) X 陸軍歩 上杉 憲武 (栃木)

大正七年三月修了生 (三人)

陸軍歩 平賀 亨二 (山形) 陸軍歩 植木 鎮夫 (福岡) 陸軍歩 朝比奈 大樹 (廣島)

大正八年三月修了生 (四人)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取) 陸軍歩 長谷川 彰一 (福井) X 陸軍歩 檜田 與三吉 (石川) 陸軍砲 增山 政雄 (佐賀)

大正九年三月修了生 (五人) (ABC順)

陸軍工 阿野 忠章 (山口) 陸軍歩 永野 博夫 (東京) 陸軍歩 鈴木 長四郎 (愛知)

陸軍少 系雅 實 (埼玉) 陸軍歩 齋藤 肇 (廣島)

大正十年三月修了生 (三人) (ABC順)

陸海軍委託選科修了生

陸海軍委託選科修了生

1100

陸軍歩 兵中尉 福澤定和 (長野) 陸軍歩 兵中尉 木庭大 (熊本) 陸軍歩 兵中尉 齋藤二郎 (山口)
 大正十一年三月修了者 (四名)
 陸軍歩 兵大尉 安邊浩 (大分) 陸軍砲 中田秀平 (石川) 陸軍歩 兵少尉 中川作二郎 (石川) 陸軍砲 中尉 伊平 (兵庫)

獨語學科

大正六年三月修了生

(五人)

×陸軍歩 兵中尉 高岡貞 (熊本) 陸軍砲 橋本宗史 (大阪) 陸軍歩 兵大尉 安藤政保 (福島)
 陸軍歩 兵中尉 羽生能敬 (鹿兒島) 等軍醫 平井正就 (東京)

大正七年三月修了生

(四人)

陸軍歩 兵中尉 鈴木春松 (神奈川) 陸軍歩 兵中尉 上村幹男 (山口) 陸軍砲 本間徳治 (山形) 陸軍歩 兵中尉 遠山登 (神奈川)
 大正八年三月修了生

大正九年三月修了生

(五人)

陸軍歩 兵中尉 岩崎清海 (東京) 陸軍歩 兵中尉 沖野賢太郎 (愛媛) 陸軍歩 兵中尉 稅所基彦 (鹿兒島) 陸軍歩 兵中尉 佐古龍祐 (山口)
 大正十年三月修了者 (四人)
 陸軍砲 青柳綠 (福島) 陸軍歩 兵大尉 兒島雅治 (岡山) 陸軍歩 兵大尉 齋藤彌 (宮城)
 陸軍歩 兵中尉 蒲原榮一 (佐賀) 兵大尉 宮内陽輔 (福岡)

大正十一年三月修了者

(二名)

陸軍歩 兵中尉 三宅貞彦 (岡山) 陸軍歩 兵中尉 岡博明 (愛媛) 陸軍歩 兵中尉 亦藤庄次 (兵庫) 陸軍歩 兵中尉 牛島正夫 (神奈川)
 大正十一年三月修了者 (二名)
 陸軍騎 兵中尉 長友次男 (宮崎) 陸軍歩 兵中尉 湯淺卓三 (京都)

陸海軍委託選科修了生

1101

露 語 學 科

明治四十四年三月修了生 (一人)

海軍 大佐 岩田秀雄 (東京)

大正六年三月修了生 (四人)

陸軍歩 兵中尉 山口 一郎 (青森) 陸軍歩 兵中尉 飯村 輔夫 (東京) 陸軍歩 兵中尉 安江 仙弘 (長野) 陸軍歩 兵大尉 越川 省吾 (千葉)

大正七年三月修了生 (三人)

陸軍工 兵中尉 須田 忠 (山梨) 陸軍歩 兵中尉 堀江 一正 (東京) 陸軍歩 兵中尉 石塚 喜助 (埼玉)

大正八年三月修了生 (二人)

陸軍歩 兵中尉 横田 次郎 (福島)

大正九年三月修了生 (二人) (ABC順)

陸軍歩 兵中尉 松坂 政孝 (東京) 陸軍歩 兵中尉 齋田 仙太郎

大正十年三月修了生 (三人) (ABC順)

陸軍輜 兵中尉 重森 本 覺 (兵庫) 陸軍二 等主計 田 島 彰 (愛知) 陸軍歩 兵中尉 横井 忠道 (大分)

大正十一年三月修了者 (二名) (ABC順)

陸軍砲 兵中尉 竹尾 清澄 (東京) 陸軍歩 兵大尉 内田 與助 (埼玉)

伊 語 學 科

大正十一年三月修了者 (一名)

陸軍騎 兵大尉 後藤 外馬 (滋賀)

陸海軍委託選科修了生

西語學科

陸軍歩兵大尉藤谷覺三郎 (滋賀) 大正七年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵中尉武藤當次郎 (東京) 大正九年三月修了生 (二人)

陸軍歩兵中尉池上克馬 (高知) 大正十一年三月修了者 (一名)

支那語學科

少海軍 菊地豐吉 (福島) 明治四十四年三月修了生 (二人)

海軍 大主計 林 復一 (和歌山) 陸軍歩兵中尉堀井富太郎 (兵庫) 大正六年三月修了生 (五人) (成績順)

陸軍一等主計 金光卓爾 (岡山) 陸軍歩兵中尉小西康照 (香川) 陸軍歩兵大尉土田倭太郎 (廣島) 大正七年三月修了生 (五人) (成績順)

陸軍歩兵大尉田所定右衛門 (和歌山) 陸軍歩兵大尉堀川正義 (和歌山) 陸軍歩兵中尉下永憲次 (熊本) 陸軍歩兵中尉島田一 (東京) 陸軍歩兵中尉松本敏三 (兵庫) 陸軍歩兵中尉織田昌一 (山口) 大正八年三月修了生 (五人) (成績順)

陸軍歩兵中尉本池政敏 (鳥取) 陸軍歩兵中尉廣瀬善三郎 (愛媛) 陸軍歩兵中尉織田昌一 (山口) 陸軍歩兵中尉直田久太郎 (兵庫) 陸軍二等主計土正雄 (岡山) 陸軍二等主計土正雄 (岡山) 大正九年三月修了生 (六人) (ABC順)

陸軍砲兵中尉石橋鬼千與 (福島) 陸軍歩兵中尉大竹菊三郎 (靜岡) 陸軍歩兵中尉武田一三 (兵庫) 陸軍歩兵中尉松尾勇太郎 (福岡) 陸軍歩兵中尉櫻庭子郎 (青森) 陸軍歩兵中尉十時和彦 (熊本)

陸海軍委託選科修了生

陸海軍委託選科修了生

大正十年三月修了者

(六人)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 金澤常雄 (熊本)

陸軍歩兵中尉 齋藤恭平 (新潟)

陸軍歩兵中尉 柳浦榮市 (島根)

陸軍歩兵中尉 權寧漢 (朝鮮)

陸軍歩兵中尉 田村寛三 (東京)

陸軍歩兵中尉 安永篤次郎 (兵庫)

大正十一年三月修了者

(三名)

(ABC順)

陸軍歩兵大尉 足達貞記 (大分)

陸軍歩兵中尉 森木五郎 (佐賀)

陸軍歩兵中尉 手塚潤 (京都)

蒙古語學科

大正六年三月修了生

(一人)

陸軍歩兵大尉 鈴江萬太郎 (徳島)

大正八年三月修了生

(二人)

陸軍歩兵中尉 宮本徳一 (愛媛)

大正十年三月修了生

(三人)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 益田政愛 (愛媛)

陸軍歩兵中尉 平吾一 (山口)

陸軍歩兵中尉 武波恒太 (山口)

陸海軍委託選科修了生

馬來語學科

大正九年三月修了生

(五人)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 長谷川 佐市 (愛知)

陸軍歩兵中尉 井上 美暢 (東京)

陸軍歩兵大尉 山本 茂 (廣島)

陸軍歩兵中尉 岡 閏造 (廣島)

陸軍歩兵中尉 坂野 博暉 (愛知)

大正十一年三月修了者

(二名)

(ABC順)

陸軍砲兵大尉 間野 一喜 (石川)

陸軍歩兵中尉 山本 俊雄 (愛知)

ヒンドスターニー語學科

大正十一年三月修了者

(一名)

陸軍歩兵中尉 田保太郎 (東京)

朝鮮語學科

明治四十四年三月修了生

(二人)

海軍主計中監 木下國明 (長野)

陸海軍委託選科第二學年修業生

英語學科

(成績順)

大正三年三月修業生

(二人)

少海軍 鈴木秀次 (愛媛) ×海軍三宅大太郎 (東京)

大正四年三月修業生

(二人)

大尉 中村 寛 (廣島) 少佐 野口 厚 (山口)

大正七年三月修業生

(二人)

大尉 三好七郎 (三重)

大正九年三月修業生

(二人)

中尉 小島 正 (靜岡) 海軍 佐藤源藏 (神奈川)

大正十年三月修業生

(七人)

陸軍歩兵中尉 福島 一郎 (岩手) 陸軍歩兵中尉 磯部 幸助 (山口)

大正十一年三月修業生

(五名)

中尉 濱中 匡甫 (東京) 陸軍中尉 藤重 工藤 勝彦 (青森)

海軍 花田 行武 (鹿兒島) 陸軍中尉 永井 卯吉郎 (鹿兒島)

海軍主計 室田 五郎 (山口) 中尉 澤吹 衷 (新潟)

(ABC順)

(ABC順)

(ABC順)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 山口 憲三 (福島)

陸海軍委託選科第二學年修業生

佛語學科

明治四十四年三月修業生 (一人)
 海軍機小野德三郎 (三重)
 明治四十五年三月修業生 (一人)
 少佐 洪 泰夫 (福岡)
 大正二年三月修業生 (二人)
 少佐 安富 正造(神奈川) 海軍 松宮 龍太郎 (東京)
 大正三年三月修業生 (一人)
 少佐 鴫野 正方 (熊本)
 大正四年三月修業生 (二人)
 大尉 峰谷 信太郎 (岡山) 海軍 石原 北夫 (東京)
 大正五年三月修業生 (三人)
 大尉 飯倉 克己 (大分) 海軍 松平 志壽 (東京)
 大正六年三月修業生 (三人)
 大尉 山村 實 (大分) 海軍 井澤 徹 (山口) 海軍機佐藤柱助 (秋田)

大正七年三月修業生 (二人)
 海軍機水 江 晉 (東京) 海軍 小林 不二 (東京)
 大正八年三月修業生 (一人)
 大尉 山田 敏世 (長崎)
 大正九年三月修業生 (四人) (ABC順)
 大尉 犬塚 惟重 (東京) 海軍 倉永 小三 (佐賀) 海軍 西村 隆光 (滋賀)
 大正十年三月修業生 (五人) (ABC順)
 海軍 加治木 智種 (東京) 陸軍 兵中尉 黒川 清 (千葉)
 海軍 中尉 可兒 滿壽夫 (岐阜) 海軍 關中尉 多田 力三 (東京) 陸軍 兵中尉 高木 勇 (茨城)
 大正十一年三月修業生 (四名) (ABC順)
 海軍 關中尉 福地 英男 (佐賀) 海軍 中尉 石川 信 (岩手) 海軍 小島 齊志 (愛媛)
 海軍 主計中尉 森澤 梅四郎 (岡山)

獨語學科

明治四十四年三月修業生 (四人)

海軍少佐 井上繁則 (香川) 海軍機務少佐 赤堀研吉 (兵庫) 海軍中佐 井出光輝 (廣島) 海軍少佐 上村從義 (東京)

明治四十五年三月修業生 (二人)

海軍機務少佐 山中政之 (神奈川) 海軍主計少監 梶川清美 (東京)

大正二年三月修業生 (三人)

海軍少佐 伊藤彰五郎 (千葉) 海軍機務少佐 角田常治郎 (千葉)

大正三年三月修業生 (四人)

海軍主計少監 二村光三 (福島) 海軍少佐 服部豐彦 (和歌山) ×海軍主計少監 細井正治 (東京) 海軍中佐 木村豐樹 (東京)

大正五年三月修業生 (二人)

海軍大尉 野原伸治 (山口) 海軍大尉 佐久間敬太郎 (和歌山)

大正六年三月修業生 (二人)

海軍少佐 久保忠道 (鳥取) 海軍機務大尉 渡邊陸一 (岡山)

大正七年三月修業生 (五人)

海軍中尉 吉田茂雄 (大分) 海軍大尉 細谷義男 (東京) 海軍機務大尉 江坂德藏 (東京) 海軍中尉 鎌田道章 (愛媛) 海軍少佐 松本一郎 (福島)

大正八年三月修業生 (三人)

海軍主計中尉 野嘉末 (三重) 海軍機務中尉 久保敬二 (香川) 海軍機務大尉 赤坂卯之助 (大阪)

大正九年三月修業生 (三人)

海軍大尉 濱田邦雄 (長崎) 海軍中尉 細谷信三郎 (京都) 海軍大尉 大野善隆 (東京)

大正十年三月修業生 (三人)

海軍主計中尉 西野定市 (福岡) 海軍大尉 小住德三郎 (福岡) 海軍機務中尉 山口真澄 (宮城)

大正十一年三月修業生 (六名)

海軍中尉 安藤榮城 (岡山) 步兵中尉 中村越 (山梨) 步兵中尉 高田典文 (福井) 海軍機務中尉 御子柴隼人 (長野) 步兵中尉 作間喬宜 (山口) 海軍大尉 吉村貞 (鹿兒島)

露語學科

明治四十五年三月修業生 (一人)

大尉 眞崎 勝次(鹿兒島) (二人)

少海佐 内藤 省一(東京) × 大尉 三宅 毅五(兵庫) (二人)

大尉 中島 喜代宜(茨城) 少佐 池 中 健一(千葉) (二人)

大尉 蒲 生 武 司(宮城) 大尉 錢 妻 準 二(山口) (二人)

中尉 阪 本 敏(埼玉) (一人)

大尉 新 井 清(東京) 大尉 久 重 一 郎(岡山) (二人)

陸軍歩兵中尉 岩 淵 駿一(千葉) 中尉 前 田 稔(鹿兒島) (四人)

大正九年三月修業生 (ABC順)

大正十年三月修業生 (ABC順)

陸軍歩兵中尉 松 本 喜 六(熊本) (一人)

中尉 山 縣 泰 介(山口)

大正十一年三月修業者 (三名)

大尉 藤 城 錦 之 助(東京) 陸軍騎兵中尉 菊 田 一 郎(山梨) 陸軍歩兵中尉 根 東 龍 太 郎(徳島)

(ABC順)

(ABC順)

伊語學科

- 海軍 中佐 中賀 藤香 (佐賀) 明治四十四年三月修業生 (一人)
 - 海軍 少佐 關 謙治 (福岡) 明治四十五年三月修業生 (一人)
 - 海軍 中尉 多田 德久 (山口) 大正七年三月修業生 (一人)
 - 海軍 中尉 大谷 雄介 (山口) 陸軍 兵大尉 德尾 俊彦 (東京) 大正十年三月修業者 (二人)
- (ABC順)

西語學科

- 少佐 友貞 俊太郎 (山口) 明治四十四年三月修業生 (一人)
 - 海軍 大尉 池田 敬之助 (東京) 大正二年三月修業生 (一人)
 - 海軍 大尉 江頭 貞三 (佐賀) 海軍 大尉 横山 馨 (東京) 大正五年三月修業生 (二人)
 - 海軍 中尉 竹下 志計理 (島根) 大正六年三月修業生 (一人)
 - 海軍 大尉 森田 一男 (福井) 大正九年三月修業生 (一人)
 - 海軍 中尉 伊藤 賢三 (和歌山) 陸軍 兵中尉 大島 竹藏 (京都) 大正十年三月修業者 (二人)
- (ABC順)

支那語學科

大正二年三月修業生 (二人)
 大海軍 菅沼 恕人 (愛知) × 計少監 花井 申 (埼玉)
 大正三年三月修業生 (四人)
 大海軍 久保田 久晴 (東京) 海軍 伊藤 完 (三重) 海軍 杉坂 悌二郎 (富山) 海軍 柴田 源一 (愛媛)
 少海軍 梅田 三良 (東京) 大正四年三月修業生 (一人)
 大海軍 土居 政道 (高知) 海軍 酒井 武雄 (長崎)
 大正六年三月修業生 (二人)
 大海軍 土居 政道 (高知) 海軍 酒井 武雄 (長崎)
 大正七年三月修業生 (三人)
 海軍 土木 俊一 (愛知) 海軍 宇田川 英庸 (神奈川) 海軍 野村 經徳 (兵庫)
 中尉 土木 俊一 (愛知) 海軍 宇田川 英庸 (神奈川) 中尉 野村 經徳 (兵庫)
 大正八年三月修業生 (二人)
 大海軍 尾崎 剛 (千葉) 少海軍 猪瀬 乙彦 (福島)
 大正十年三月修業生 (二人)
 大海軍 尾崎 剛 (千葉) 少海軍 猪瀬 乙彦 (福島)
 中尉 中原 三郎 (佐賀) 海軍 岡野 俊吉 (兵庫)
 海軍 岡野 俊吉 (兵庫)
 (ABC順)

大正十一年三月修業者

(五名)

(ABC順)

陸軍 石田 豐藏 (兵庫) 陸軍 鷗田 登實 (福岡) 陸軍 山本 基行 (山梨)
 兵中尉 寺田 秋三 (新潟) 兵中尉 渡邊 卯一郎 (新潟) 兵中尉 山本 基行 (山梨)

蒙古語學科

海軍歩兵中尉	松田 光作	(山口)	陸軍輜重兵中尉	石原 保男	(岡山)
	大正七年三月修業生				
	(二人)				
陸軍歩兵中尉	市川 寛一郎	(福島)	陸軍歩兵中尉	間瀬 勘八	(愛知)
	大正九年三月修業生				
	(二人)				
					(ABC順)

馬來語學科

少海軍佐	森田 三郎	(東京)
	大正二年三月修業生	
	(一人)	
海軍大尉	井上 眞吾	(廣島)
	大正二年三月修業生	
	(一人)	
海軍大尉	柴田 善治郎	(愛媛)
	大正六年三月修業生	
	(一人)	

別科(後專修科)改稱ス修了生

英語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生

(十二人) (いろは順)

岡田明達 (愛知) 浦壁長富 (東京)
高橋行次 (滋賀) 野一色千七郎 (静岡)
園田辰三郎 (東京) 大西成太 (香川)

黒川善一 (東京)
黒田茂次郎 (長崎)
松下專吉 (静岡)

小山市太郎 (東京)
小山英吾 (東京)
三宅貞齋 (東京)

明治三十三年七月第二回別科修了生

(六人) (いろは順)

鳥越盛 (佐賀) 田中虎雄 (埼玉)
高比良勝二 (長崎) 中川源三郎 (京都)

大高準太郎 (東京)
的場悌 (和歌山)

明治三十四年七月第三回別科修了生

(五人) (いろは順)

錦織房之助 (宮城) 久保清太郎 (徳島)
香川敦太郎 (愛媛) 松井英一郎 (岐阜)

枝正八 (茨城)

明治三十五年七月第四回別科修了生

(十六人) (いろは順)

伊東献密 (福島) 加賀川市松 (兵庫)
西村惠次郎 (滋賀) 奥謝野修 (京都)
星野鏡造 (東京) 多羅間政輔 (山口)

内藤明延 (東京)
野田爲太郎 (鳥取)
野本彌生八 (和歌山)

山中實次郎 (滋賀)
山崎正身 (高知)
古谷鐵之助 (東京)

秋山運四郎 (宮城)

君塚一 (東京)

宮定平 (廣島)

鈴木孫太郎 (静岡)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十九人) (いろは順)

石川功 (廣島) 吉福典四郎 (長崎)
峰屋三千三 (東京) 谷氷輔 (福島)
小川松輔 (宮城) 内山秋太郎 (静岡)
片山喜十郎 (京都) 大村足彦 (東京)
金子助次郎 (長崎) 倉橋軍治 (宮城)

山形龜次郎 (東京)
山中榮藏 (山口)
松井億太郎 (茨城)
小泉有道 (石川)
小出益次郎 (東京)

後藤敬三 (東京)
秋月源太郎 (静岡)
三浦秀二 (長崎)
森美文 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十二人) (いろは順)

板垣昌助 (静岡) 堀重幸 (東京)
原庄藏 (静岡) 小笠原静也 (東京)
林善一 (東京) 加藤利雄 (東京)

高橋静雄 (東京)
村形英次郎 (東京)
太田喜次郎 (京都)

眞下利郎 (群馬)
宮越健太郎 (新潟)
四戸友太郎 (岩手)

明治三十八年七月第七回專修科(別科)改稱修了生

(十九人) (いろは順)

大伏節輔 (徳島) 小野千代太 (廣島)
今井静治 (新潟) 荻野由次郎 (埼玉)
半田虎雄 (東京) 和田政治 (新潟)
西原修三 (東京) 河村竹三郎 (岐阜)
岡本稻輔(神奈川) 糟谷武城 (鳥取)

多田作治郎 (福岡)
鶴見高 (千葉)
長岡喜一 (山口)
中村三男吉 (東京)
永井彌彦 (茨城)

中野一三 (香川)
内田謙司(神奈川)
安福勝美 (岐阜)
是永均 (大分)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(二十四人) (いろは順)

伊東要之輔 (愛知) 服部鐵三郎 (神奈川) 荻島四三二 (東京) 山内朝吉 (福岡)
 伊藤充男 (岐阜) 林 藤原 (大分) 尾島林之助 (神奈川) 安藤兔毛喜 (長崎)
 伊藤昭吉 (香川) 西村 稠 (島根) 波邊豐一 (廣島) 齋藤 實 (東京)
 伊矢野 豐三郎 (栃木) 富永正清 (長崎) 川口眞清 (新潟) 芝 茂義 (福岡)
 石塚久雄 (新潟) 千葉 茂 (岩手) 植田 稔 (東京) 森田 甫 (兵庫)
 服部連三 (福島) 小澤政行 (東京) 釘宮 極 (大分) 住野良三 (奈良)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二名) (いろは順)

岡田 鈞 (東京) 中山彌市 (栃木) 藤 卷 清 (東京) 木村 説二 (兵庫)
 小笠原 安太郎 (和歌山) 氏江富藏 (山形) 雙川喜一 (東京) 水野 福三 (東京)
 川原井 左司馬 (茨城) 大津 茂 (東京) 舟越升太 (大分) 嶺岸久治 (宮城)
 川崎 廉吾 (佐賀) 藏口淺次郎 (富山) 青木秀太郎 (滋賀) 城 親政 (栃木)
 芳野 春吉 (愛媛) 久米豐作 (埼玉) 淺石晴香 (青森) 笹森 章一 (青森)
 露口浩治 (大阪) 丸山 殿淨 (長野) 笹森 章一 (青森) 菅原 菊治 (宮城)
 原 忠道 (東京) 河村 正 (東京) 小林嘉貞 (山梨) 三原 裕 (大分)
 西本 瀧藏 (廣島) 高倉 俊政 (富山) 寺田祐男 (長野) 鹽川 八男 (香川)
 星野 勝藏 (東京) 玉田耕二 (兵庫) 天草三郎 (東京) 岩崎 勝平 (東京)
 鳥羽 順二 (東京) 山田寛治 (新潟) 木村善淳 (三重) 菅原 菊治 (宮城)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十四名) (いろは順)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(二十二名) (いろは順)

市原文治 (徳島) 田内定治 (愛知) 中島 濱三郎 (栃木) 坂本 鼎三 (静岡)
 石田善太郎 (東京) 津村 俊雄 (和歌山) 村越清太郎 (東京) 崎田 清一 (東京)
 石井巳代吉 (東京) 津山 辨一 (大阪) 太田清三郎 (岡山) 廣川 善一 (東京)
 渡邊 裕 (東京) 辻 芳哉 (福岡) 前田元四郎 (青森) 菅原 菊治 (宮城)
 金原利雄 (千葉) 根本 敬三 (東京) 小林 信一 (東京) 菅原 菊治 (宮城)
 金田 爾郎 (鳥取) 中村盛司 (千葉) 小四好二郎 (奈良) 菅原 菊治 (宮城)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生

(十九名) (いろは順)

倭 謹五郎 (茨城) 村井 巳年 (大分) 榎本 秋次郎 (東京) 菊田 熊太郎 (東京)
 高橋 隆司 (千葉) 野村於菟三 (奈良) 天津 莊一 (東京) 土方 井三 (東京)
 ×田中 鑛之助 (東京) 大岩 峯吉 (東京) 坂本 貞道 (東京) 平野 長太郎 (愛知)
 田崎 安榮 (東京) 熊谷 六郎 (岐阜) 櫻井 宗吉 (東京) 檜山 兼次郎 (茨城)
 角田不二雄 (東京) 八百 顯龍 (石川) 木下 末雄 (佐賀) 檜山 兼次郎 (茨城)
 赤羽 右 (長野) 古市 哲 (千葉) 柴山 啓一郎 (茨城) 小山 體二 (岡山)
 近藤 保業 (兵庫) 古田吉五郎 (大阪) 大西 竹松 (奈良) 吉川 男也 (山形)
 三藤治三郎 (三重) 土屋 岐蘇生 (長野) 江川種太郎 (長崎) 吉田 壽三郎 (熊本)
 深江 彦一 (大阪) 竹澤 正武 (長野) 福崎 節衛 (東京) 後藤 基固 (滋賀)
 吉野 正夫 (千葉) 中川 宗太郎 (大阪) 大久保 鼎造 (東京) 吉田 國松 (北海道)
 猪瀬 久三 (茨城) 藤澤 出来造 (東京) 小林 哲之助 (新潟) 岩崎 勝平 (東京)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生

(二十七名) (成績順)

齋藤政一 (埼玉)

伊藤憲三 (東京)

工藤潤次郎 (長野)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生

(三十二人)

(成績順)

澁谷重武 (東京)
木田利暢 (島根)
桐生筆次 (新潟)
高江幸彦 (大分)
大川福松 (茨城)
岡宮孝 (静岡)
佐野喜三郎 (東京)
三谷錦太郎 (東京)

早川義治 (東京)
高須岩代 (東京)
森本憲章 (東京)
邊見由太郎 (東京)
藤岡健藏 (富山)
豐島旭 (茨城)
曾我順雄 (神奈川)
村上喜平 (福島)

佐藤龍男 (廣島)
能勢勝夫 (岡山)
小笠原徳兵衛 (岩手)
木村久七郎 (群馬)
中川徹夫 (京都)
飯島英次 (東京)
土井敬一 (和歌山)
岸田舜道 (滋賀)

榎本健次 (東京)
正田徳太郎 (廣島)
入江新吉 (東京)
山本鶴松 (静岡)
鈴木孝助 (神奈川)
佐々木英夫 (埼玉)
瀧村信男 (愛知)
伊坂賢二 (徳島)

大正二年三月第十五回專修科修了生

(十九人)

(成績順)

井出徳夫 (長野)
高宮岩夫 (千葉)
高松鶴吉 (千葉)
若松盛之助 (東京)
上野一良 (東京)
堀江幸太郎 (兵庫)

關徳平 (神奈川)
太田丈太郎 (大阪)
伊藤健 (福井)
井上信善 (茨城)
望月世教 (東京)
望月五一 (山形)

一ノ瀬敏 (千葉)
名和順秀 (東京)
神田準一 (福岡)
神崎友吉 (栃木)
市川宣 (静岡)
大岩儀助 (北海道)

空閑重峰 (佐賀)
秋山敏長 (東京)
櫻井忠之介 (茨城)
小宮仙吉 (東京)
金子正吾 (長野)

大正三年三月第十六回專修科修了生

(十五人)

(成績順)

服部繁松 (静岡)
宮下時太郎 (千葉)
藤野憲夫 (静岡)

眞宮幸之助 (京都)
大庭榮藏 (東京)
石丸充 (大分)

伊藤謙清 (群馬)
廣瀬貞平 (岐阜)
種田謙二 (岐阜)

榎本常次 (茨城)
黒野武 (東京)

大正四年三月第十七回專修科修了生

(九人)

(成績順)

片岡悌三 (東京)
高井末彦 (島根)
内海三八郎 (神奈川)

大塚彪雄 (千葉)
高橋貞作 (神奈川)
白井眞策 (兵庫)

内藤健司 (愛知)
西川達三郎 (群馬)
皆崎義顯 (廣島)

大正五年三月第十八回專修科修了生

(十一人)

(成績順)

弓削孝之助 (東京)
伊藤恒 (千葉)
伊藤兼四郎 (東京)

山内與一 (東京)
田邊定義 (鳥取)
増村勝 (埼玉)

内藤助治 (宮城)
手島三千三 (東京)
乾彦一 (京都)

村上喜久治 (新潟)
宮崎英次 (奈良)

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十四人)

(成績順)

山村喬 (福井)
都築茂 (鹿兒島)
中島鐵次 (佐賀)
宮下壽 (長野)

安積千勝 (高知)
山本榮助 (岡山)
備前徹二 (福井)
關矢恕一 (新潟)

村田眞多男 (東京)
杉本連治 (愛知)
須藤忠 (栃木)
武藤廣 (山梨)

森山正義 (島根)
加藤圓三郎 (愛知)

大正七年三月第二十回專修科修了生

(二十三人)

(成績順)

東野榮造 (大分) 大高喜一 (東京) 板橋秀雄 (東京) 大城戸仁輔 (兵庫)

加藤喜太郎 (東京) 長谷川謙 (東京) 永田直武 (鹿兒島) 伊佐義基 (熊本)

安田健一 (山梨) 平澤茂 (神奈川) 森又二 (富山) 山下恭之助 (茨城)

金子庸之助 (東京) 廣浦政和 (東京) 宮川秀雄 (東京) 高野讓 (山形)

山崎茂樹 (千葉) 田村浩 (群馬) 白井由藏 (栃木) 佐藤義和 (静岡)

三上春美 (東京) 峯岸喜一 (福島) 小島時久 (栃木)

大正八年三月第二十一回專修科修了生 (二十六人) (成績順)

熊澤福督 (神奈川) 長澤榮作 (静岡) 上田憲三 (東京) 五十嵐藤助 (山形)

延原好一 (岡山) 櫻井義教 (群馬) 船越藤吉 (東京) 春日喜三男 (長野)

飛永賢三 (東京) 菊島丙三 (山梨) 大谷忠四郎 (福島) 大崎範一 (東京)

花村馨 (廣島) 藤崎銳樹 (高知) 高橋剛 (福島) 池本靜藏 (京都)

佐藤德三郎 (東京) 根岸眞三郎 (埼玉) 柏木栗 (兵庫) 鶴澤多吉 (千葉)

如念昌永 (沖繩) 橋本健之助 (埼玉) 高松作治郎 (千葉) 谷口徳行 (福岡)

多田茂 (富山) 二宮榮春 (愛媛) 中島敏男 (佐賀) 豐倉正次 (鹿兒島)

江口瀧造 (千葉) 黒岩善吉 (群馬) 佐々光郎 (三重) 谷倉正次 (鹿兒島)

細川良爾 (千葉) 森本亮一 (静岡) 鈴木千藏 (千葉) 内田繁 (東京)

伊藤一郎 (東京) 西谷才二郎 (栃木) 田口泰藏 (兵庫) 若杉藤政 (福島)

國弘憲治 (山口) 酒井信 (東京) 高橋富藏 (東京)

大正九年三月第二十二回專修科修了生 (十八人) (ABC順)

矢田直二 (東京) 山本嘉助 (岐阜)

大正十年三月第二十三回專修科修了生 (二十人) (ABC順)

安西清行 (千葉) 宮崎佐市郎 (和歌山) 齋藤良雄 (宮城) 鶴澤茂三 (千葉)

芦田清吉 (東京) 森下重格 (徳島) 清水秀雄 (東京) 山本貞吉 (滋賀)

足羽憲太郎 (鳥取) 永沼騰 (福岡) 高和博 (茨城) 横田清 (茨城)

伏見芳太郎 (東京) 西村直樹 (廣島) 高澤眞八 (栃木) 横山福太郎 (神奈川)

菊池武光 (東京) 織田又雄 (東京) 榎輪正巳 (福井) 吉田善松 (新潟)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生 (二十七名) (ABC順)

安藤文雄 (大分) 今里延次郎 (東京) 松平登 (神奈川) 富岡治郎 (埼玉)

荒尾賢 (茨城) 石橋利三郎 (福岡) 宮本健二郎 (茨城) 若栗博助 (富山)

千原千代吉 (東京) 菊池喜久太郎 (東京) 森脇國男 (大分) 山野眞一 (東京)

江畑誠一 (千葉) 小林敬太郎 (岡山) 中村唯一 (山口) 米垣整史 (東京)

日比野昭 (岐阜) 金武雄 (岩手) 佐久間長次郎 (北海道) 吉田兵吉 (東京)

廣瀬健三 (大阪) 小園秀雄 (鹿兒島) 鈴木俊久 (静岡) 吉田健次 (福島)

堀田勝郎 (高知) 能代吉太郎 (東京) 高橋敬三 (新潟)

佛語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (九人) (いろは順)
 服部邦光 (長崎) 金光 泰 (大分) 松原常次郎 (東京)
 新原俊秀 (宮崎) 大野若三郎 (神奈川) 宮城大太郎 (千葉)
 歸山信順 (石川) 山内健吉 (岐阜) 鈴木彌次平 (靜岡)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (三人) (いろは順)
 神谷龍彦 (愛知) 吉田六之助 (千葉) 井出 哲 (東京)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (三人) (いろは順)
 徳岡梅吉 (鳥取) 上條辰藏 (長野) 三戸頼猷 (山口)

明治三十五年七月第四回別科修了生 (十四人) (いろは順)
 高岩勲次郎 (福岡) 寺島成信 (山形) 齋藤久孝 (兵庫)
 田村保三 (千葉) 阿部景毅 (宮城) 佐藤純太郎 (石川)
 岡田武松 (千葉) 有吉秀太 (山口) 三谷氏郎 (香川)
 山下安太郎 (埼玉) 淺井義明 (愛知) 鹿野岩次郎 (石川)

明治三十六年七月第五回別科修了生 (八人) (いろは順)
 泰正雄 (三重) 本間重策 (新潟) 吉岡七郎 (東京) 野田爲太郎 (鳥取)

白井輝三郎 (長野)
 關次郎 (長野)

菅谷龍平 (東京)

黑島定靜 (高知) 前原準一郎 (群馬) 松原制六 (山口) 齋藤豊作 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生 (十人) (いろは順)
 石津利作 (大阪) 寺澤健二 (愛知) 生野圓六 (大分)
 吉原 開 (東京) 木村 衡 (新潟) 平澤均治 (青森)
 中村平吉 (岩手) 宮崎團治郎 (長野) 日暮 忠 (東京)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生 (六人) (いろは順)
 今道文一郎 (長崎) 園部 潛 (三重) 崎山刀太郎 (東京)
 池上泰次郎 (長野) 後藤清造 (岩手) 宮林捨藏 (新潟)

明治三十九年七月第八回專修科修了生 (八人) (いろは順)
 小野秀太郎 (茨城) 田島道治 (愛知) 太田喜二郎 (京都)
 梶田謙太郎 (東京) 井上通夫 (東京) 大關久五郎 (青森)

明治四十年三月第九回專修科修了生 (五人) (いろは順)
 飯守勘一 (佐賀) 渡邊劍之丞 (埼玉) 中島濱三郎 (栃木)

明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)
 市川節太郎 (石川) 内崎豊一郎 (宮城) 淺野 良 (茨城)
 池田福松 (大阪) 大島隆吉 (岩手) 平田 稔 (和歌山)

福尾昇 (島根)
 鈴木行三 (群馬)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (四人) (いろは順)
 中山隆吉 (滋賀) 奥山萬次郎 (静岡) 山口篤郎 (東京) 秋岡愛一 (群馬)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (七人) (いろは順)
 河本新一 (山口) 松本忠清 (愛媛) 榎本明 (福岡) 三隅藏三郎 (山口)
 藤篤鷹 (東京) 小林馨 (廣島) 天野政太郎 (東京)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (六人) (成績順)
 宮村時一郎 (東京) 原基一郎 (静岡) 山脇義太郎 (兵庫) 今井吉朗 (神奈川)
 杉本伊作 (静岡) 郡山嘉内 (鹿兒島)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (七人) (成績順)
 加納道生 (大分) 飯島德次 (埼玉) 富士德治郎 (奈良) 松井九郎 (群馬)
 赤羽右 (長野) 杉本連治 (愛知) 小泉良俊 (東京) 植村家治 (東京)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (四人) (成績順)
 島村榮之助 (埼玉) 鈴木悦 (愛知) 赤羽秀雄 (福島) 植村家治 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生 (七人) (成績順)
 長松宗一 (福岡) 岡本平 (愛知) 福島兼馬 (高知) 千森市之亮 (東京)
 岩永勝典 (長野) 土御門信復 (京都)

大正四年三月第十七回專修科修了生 (十人) (成績順)
 田中文勝 (埼玉) 武田外希住 (石川) 物部長穗 (秋田) 山田又市 (新潟)
 牧彦七 (大分) 大久保彦藏 (茨城) 入澤一郎 (新潟) 寺田勢造 (兵庫)

大正五年三月第十八回專修科修了生 (十一人) (成績順)
 藤波琢實 (岡山) 阿部壽準 (山口) 武井理三郎 (群馬) 雨田外次郎 (福井)
 牛田廉次 (東京) 伊東孝一 (東京) 玉越太郎 (東京) 桑原銀二 (福井)
 藤江惠輔 (兵庫) 山本犀藏 (兵庫) 川崎一 (東京)

大正六年三月第十九回專修科修了生 (十三人) (成績順)
 吉澤茂一 (東京) 清岡博見 (岩手) 田中稻三 (群馬) 大谷忠四郎 (福島)
 色部貢 (長野) 岡部正一 (兵庫) 加藤鈴三 (愛知) 岩崎民平 (山口)
 今岡十一郎 (島根) 米田保 (福岡) 岩崎民平 (山口) 佐藤大樞 (廣島)
 中岡孫一郎 (和歌山) 竹下政之助 (東京) 佐藤大樞 (廣島)

大正七年三月第二十回專修科修了生 (十人) (成績順)
 小林徳三郎 (大阪) 高橋好三 (埼玉) 佐久間外二 (石川) 卷島庄之助 (茨城)
 高橋三郎 (福岡) 岡村千秋 (長野) 山中澤次郎 (東京) 熊谷武 (兵庫)
 平田宗胤 (東京) 神谷勇 (三重)

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(十五人)

(成績順)

井上 堅曹 (愛媛)
橋爪 英夫 (福岡)
松坂 佐一 (愛知)
石田 旭勝 (東京)

塚本 丈勳 (東京)
丸毛 信勝 (大分)
柴田 勳次 (新潟)
宮本 恒平 (東京)

北爪 益雄 (埼玉)
豐原 清雄 (東京)
及川 文吾 (岩手)
中牟田 三治郎 (福岡)

兩角 潤 (東京)
戸澤 富壽 (東京)
河面 繁松 (廣島)

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十人)

(ABC順)

林 豐 (東京)
帆足 元夫 (東京)
今村 和平 (東京)

川島 清次 (東京)
友 清保 (北海道)
内田 新造 (福岡)

牛山 充 (長野)
山口 常光 (長崎)
山崎 忠雄 (山口)

安田 鐵之助 (熊本)

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(十八人)

(ABC順)

藤定 兼衛 (岡山)
萩野 勝二 (北海道)
居城 基 (新潟)
金山 農太郎 (山口)
川島 清市 (東京)

小林 喜一 (東京)
近田 喜隆 (愛知)
熊谷 善兵衛 (宮城)
松岡 正一 (新潟)
三村 孝一 (岡山)

森 茂滿 (愛媛)
長島 重次郎 (京都)
小原 伉 (宮城)
岡村 德治 (高知)
太田 純一 (愛知)

瀨尾 乃武 (茨城)
島 久雄 (長崎)
高石 正 (福岡)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十八名)

(ABC順)

藤本 一雄 (静岡)
後藤 外馬 (滋賀)

平川 深 (東京)
金森 虎男 (福井)

小林 商治 (北海道)
小山 勝利 (大阪)

倉石 忠一郎 (長野)
黒澤 浩太郎 (秋田)

前田 祥吾 (東京)
三浦 伸善 (福岡)
森田 吉秀 (東京)

滑川 二三郎 (兵庫)
關口 光利 (東京)
竹居 光積 (山梨)

田中 卓爾 (静岡)
田中 吉兼 (東京)
宇田 一 (福島)

安室 俊治郎 (兵庫)

獨語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生

田崎 復 (東京) 松岡 定 (熊本)
中村 平作 (新潟) 幸田 成友 (東京)

(六人) (いろは順)

澤田 錦義 (神奈川)
宮田 義敬 (東京)

明治三十三年七月第二回別科修了生

岩崎 牛次 (茨城) 堀 常次郎 (岐阜)
磯野 清助 (東京) 徳永 昌美 (東京)
今福 忍 (神奈川) 中島 松次郎 (茨城)

(九人) (いろは順)

歌原 兼良 (愛媛)
山田 又市 (新潟)
杉山 正治 (東京)

明治三十四年七月第三回別科修了生

川島 庄一郎 (和歌山) 片山 外典作 (東京)
可兒 徳 (岐阜) 上田 長藏 (京都)

(八人) (いろは順)

乙竹 岩造 (三重)
福井 久造 (兵庫)

明治三十五年七月第四回別科修了生

伊藤 弘一 (千葉) 高橋 鐘二 (長野)
堀 與三 (三重) 中條 道次郎 (千葉)
折原 吉之助 (東京) 中柴 鏢三郎 (東京)
高橋 祐治 (大阪) 中島 田人 (北海道)

(十五人) (いろは順)

久保 田敬一 (兵庫)
工藤 武城 (熊本)
菊地 房三郎 (大分)
篠田 良二 (長野)

酒井 政吉 (石川)
新海 吉兵衛 (長野)

平木 安之助 (福岡)
樋口 兼治 (東京)
毛利 祐吉 (石川)

明治三十六年七月第五回別科修了生

伊東 泰助 (千葉) 合田 壽治 (東京)
伊東 榮三郎 (東京) 吉田 喜三郎 (茨城)
石崎 久吉 (愛媛) 六笠 弘躬 (東京)
小倉 俊圓 (山口) 大久保 直記 (長野)

(十三人) (いろは順)

黒住 静太 (岡山)
松崎 故一 (島根)
眞弓 眞 (愛媛)
平島 直太郎 (徳島)

毛利 正義 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生

石井 敏雄 (岡山) 井田 豊太 (群馬)
豊田 八十代 (兵庫) 野々部 本祐 (東京)
金田 捨吉 (宮崎) 大關 久五郎 (青森)
田畑 梅次郎 (岡山) 山根 静智 (島根)

(十五人) (いろは順)

藤本 幸太郎 (三重)
澤山 勇三郎 (山口)
佐藤 純之助 (埼玉)
坂田 弘 (千葉)

森 六藏 (茨城)
瀬下 清 (長野)
杉村 信臣 (東京)

明治三十八年七月第七回專修科(別科)修了生

伊藤 一郎 (東京) 川村 丈吉 (千葉)
石田 龜吉 (秋田) 河崎 次雄 (長崎)
八田 敏夫 (福井) 河野 義璋 (東京)
岡田 藤十郎 (愛知) 田中 親介 (三重)
小田 部家資 (秋田) 中田 榮太郎 (東京)

(十九人) (いろは順)

野島 和吉 (東京)
葛岡 陽吉 (宮城)
矢崎 習吉 (兵庫)
小鷹 連平 (埼玉)
小柳 新吉 (新潟)

渥美 銳太郎 (群馬)
相良 頼綱 (東京)
平島 權藏 (東京)
鈴木 衛平 (静岡)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(十七人)

(いろは順)

專修科修了生 獨語學科

岡田芳之介 (茨城) 村形東之助 (千葉) 坂本寛次郎 (静岡)
 吉田令兒 (兵庫) 梅山讓 (群馬) 黄川田茂藏 (岩手)
 高橋勝 (島根) 近藤耕藏 (神奈川) 湯川直砥 (神奈川)
 高木清徳 (島根) 近藤茂吉 (京都) 清水静 (神奈川)
 永田源一郎 (茨城) 江川惣次 (香川) 平山金作 (愛知)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二名) (いろは順)

伊藤金八 (三重) 依田豊 (長野) 倉石眞三 (長野)
 稻葉宇作 (新潟) 馬上孝太郎 (福島) 矢田鶴之助 (島根)
 長谷川市松 (岡山) 梅澤條五郎 (東京) 山本鎮三郎 (東京)
 堀田要三郎 (三重) 海沼博 (長野) 間中綱彦 (東京)
 本田稔介 (山口) 井浦義久 (福岡) 藤井輝雄 (東京)
 尾崎錦太郎 (岡山) 奥村文平 (岐阜) 福山一二 (鹿兒島)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十三名) (いろは順)

巨理繁 (千葉) 椿繁藏 (千葉) 柳澤秀吉 (富山)
 渡邊次郎 (東京) 成松静雄 (熊本) 前田弘 (高知)
 神藏良一 (新潟) 中曾根類造 (群馬) 小池政藏 (長野)
 高野親雄 (山形) 井上達子 (廣島) 齋藤糸平 (群馬)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(十名) (いろは順)

飯海慎二 (愛知) 加藤輝光 (埼玉) 内記茂市 (滋賀)
 八田清信 (京都) 高橋鈴彦 (愛知) 安武元十郎 (福岡)
 林祐次郎 (愛知) 角田孝次郎 (新潟) 胡以魯 (清國)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生

(十二名) (いろは順)

坂倉東海男 (東京) 坪田熊雄 (福井) 富士徳治郎 (奈良)
 神谷衛平 (東京) 織田仙之助 (東京) 荒井桂三 (東京)
 高山録太郎 (東京) 松田重則 (奈良) 水田恭太郎 (東京)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生

(十四名) (成績順)

周家彦 (清國) 上原博聞 (山梨) 沓掛芹次郎 (長野)
 福田勝治 (埼玉) 竹島茂郎 (三重) 宇津忠萬 (東京)
 佐々木啓介 (福井) 山本孝太郎 (和歌山) 安部藤治 (大分)
 小坂榮次 (新潟) 小林正藏 (東京) 安彦啓次郎 (北海道)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生

(十八名) (成績順)

村上瑚磨雄 (岡山) 松橋達生 (青森) 島岡浩一郎 (群馬)
 原田親雄 (北海道) 永山武美 (北海道) 氏家孝次郎 (宮城)
 水谷英保 (東京) 西岡定太郎 (高知) 伊藤清一 (愛知)
 石堂貞 (鹿兒島) 山田平七 (京都) 前澤清助 (長野)
 渡邊義男 (山梨) 村田辰三 (静岡) 田邊定吉 (北海道)

專修科修了生 獨語學科

二四二

大正二年三月第十五回專修科修了生

(十二人) (成績順)

森 忠藏 (東京) 武田外希往 (石川)
小寺 昌 (京都) 濱田 章 (埼玉)
石川 鼎 (北海道) 山田嘉一 (愛知)

松本照吉 (高知)
小島德太郎 (東京)
曾我李祐 (岐阜)

鹽田典吉 (群馬)
西木直民 (東京)
瀧淵兼次 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生

(十七人) (成績順)

谷 喜一郎 (東京) 白井龜吉 (千葉)
橫田千秋 (兵庫) 大塚小郎 (山形)
大村清一 (岡山) 林 嘉保 (長野)
砂山 丙野 (新潟) 小林來三 (山口)
進藤千之助 (兵庫) 三條商太郎 (東京)

鹿野 澄 (鳥取)
鹿兒島 茂 (福岡)
岩田文吉 (京都)
岩本民德 (鳥取)
相川直吉 (群馬)

小島仁作 (大分)
細野角太 (群馬)

大正四年三月第十七回專修科修了生

(十七人) (成績順)

西村 彌 (島根) 下村宏次郎 (佐賀)
猪俣津南雄 (新潟) 井芹繼志 (熊本)
增田 透 (東京) 齋藤 修 (岡山)
北澤種一 (長野) 谷田澤隆甫 (静岡)
山田實平 (静岡) 松井壽次 (愛知)

加藤光三 (東京)
古内熊太郎 (宮城)
川村久治郎 (福井)
桑田福太郎 (廣島)
柴田孝一 (東京)

角田清彦 (熊本)
居合鈕一郎 (長野)

大正五年三月第十八回專修科修了生

(十五人) (成績順)

甲斐直喜 (東京) 小室英夫 (東京)
鈴木重春 (東京) 鈴木習之 (千葉)
柳島鐵一 (愛知) 武田清三 (大阪)
村上信三 (大阪) 納 五平 (兵庫)

御園生嘉二 (山口)
松井佳一 (山口)
黒柳謙吉 (岐阜)
外内 豊 (千葉)

畑 馬治郎 (東京)
熊谷 武 (兵庫)
鮫島近二 (鹿兒島)

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十五人) (成績順)

山本鹿太郎 (神奈川) 關 文圭 (長野)
丸毛信勝 (大分) 石川重吉 (愛知)
秋葉 隆 (千葉) 湯淺次三郎 (富山)
西池正顯 (福井) 岩崎 憲 (北海道)

寺田正中 (茨城)
齋藤保次 (千葉)
中山德治 (福島)
岡田彌一郎 (東京)

金子從次 (東京)
眞宮幸之助 (京都)
河野嘉六 (廣島)

大正七年三月第二十回專修科修了生

(十人) (成績順)

池端 榮 (静岡) 阿部徳三郎 (北海道)
伊藤宗一郎 (長野) 中原壽一郎 (長野)
進谷十郎 (新潟) 松岡益雄 (熊本)

酒井光義 (東京)
岡中周市 (山口)
林 藤三郎 (滋賀)

荒木榮次郎 (廣島)

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(十八人) (成績順)

岡村梧彌太 (東京) 石丸源次郎 (佐賀)
大槻 喬 (兵庫) 岡村喜代策 (埼玉)
大澤忠光 (東京) 宮本寅平 (福岡)
武田正雄 (岡山) 山本憲太郎 (静岡)
加藤述之 (東京) 岩月定次 (愛知)

長尾昌平 (香川)
長谷川得太郎 (愛知)
濱口末喜 (大阪)
松隈吉郎 (佐賀)
大津千丈 (宮城)

黃祐 日 (朝鮮)
長野小伊三郎 (岐阜)
西澤信三 (長野)

專修科修了生 獨語學科

二四三

專修科修了生 獨語學科

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十五人)

(ABC順)

足木十郎 (愛知)
原田雄一 (新潟)
磯部節次 (山口)
岩間縁郎 (青森)

加藤聰郎 (三重)
小林商治 (北海道)
中野宗治 (長野)
直江光次 (新潟)

鬼釜繁 (熊本)
坂井俊三郎 (長野)
寶田通元 (東京)
谷口市太郎 (福岡)

立田義夫 (東京)
内沼武雄 (福島)
渡邊虎太 (岡山)

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(二十一人)

(ABC順)

阿部眞 (福島)
相澤與吉 (神奈川)
古屋諦道 (東京)
石黒誠一 (東京)
金子源一郎 (東京)
岸谷貞治郎 (大阪)

三宅當時 (東京)
中村武 (千葉)
西室貴義 (山梨)
萩原太郎 (長野)
小城末喜 (大分)
小野竹次 (長野)

大倉武一 (大阪)
押田武夫 (新潟)
鹽澤誠 (宮城)
竹内甲子二 (静岡)
戸田哲次郎 (鳥取)
坪田孝之 (福井)

山城誠止 (宮城)
養田隆一 (和歌山)
吉岡友雄 (長崎)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十三名)

(ABC順)

赤崎茂信 (香川)
秋山直太郎 (東京)
井上宗助 (東京)
石井増太郎 (神奈川)

笠倉英之助 (廣島)
布川二郎 (東京)
柴田周吉 (福岡)
申文休 (朝鮮)

庄司好彰 (山形)
高橋正彦 (廣島)
高下和義 (神奈川)
牛山充 (長野)

山下武雄 (群馬)

露語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生

(二人)

(いろは順)

田中興五郎 (大阪)

深井才治 (新潟)

明治三十三年七月第二回別科修了生

(三人)

(いろは順)

岡部重一郎 (東京)

松尾長之助 (佐賀)

明治三十四年七月第三回別科修了生

(二人)

(いろは順)

長野豊彦 (大分)

酒井恒矢 (山形)

明治三十五年七月第四回別科修了生

(五人)

(いろは順)

稻澤珍三郎 (宮崎)
大倉勳夫 (山形)

久保田兵一 (北海道)
軍地五郎 (茨城)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(八人)

(いろは順)

市川謙三 (東京)
鳥居博 (福島)

奥野幸吉 (兵庫)
竹内彌惣次 (三重)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(六人)

(いろは順)

于冲漢 (清國)
松平庄九郎 (東京)

別科修了生 露語學科

原田三平 (山口)	中川正雄 (兵庫)	藤井十四三 (山口)
岡田貞作 (新潟)	村山丑松 (新潟)	三宅福馬 (高知)
明治三十八年七月第七回專修科 ^{別科} 改稱 ^科 修了生 (六人) (いろは順)		
根津鹿之輔 (千葉)	中瀬覺次郎 (富山)	山徳貫之輔 (東京)
成瀬正義 (香川)	大友義勝 (東京)	間瀬越彌 (北海道)
明治三十九年七月第八回專修科修了生 (一人)		
細野正文 (新潟)		
明治四十年三月第九回專修科修了生 (七人) (いろは順)		
石橋則隆 (福岡)	高崎忠一 (石川)	上野信孝 (東京)
金森輝夫 (岐阜)	竹内嘉兵衛 (東京)	駒田彌四郎 (三重)
明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)		
劉用 靜 (清國)	山 科 久 (栃木)	松信春之輔 (茨城)
健和田 專太郎 (神奈川)	松井英一 (宮城)	宮崎友次郎 (東京)
明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (三人) (いろは順)		
山本眞太郎 (静岡)	荒木頼吉 (東京)	皆川太郎 (山口)
正田盛一 (東京)		

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (五人) (いろは順)		
石龜守人 (岩手)	中野力太郎 (東京)	佐治喜一 (福島)
加藤盛三 (三重)	中 島 平 (福井)	
明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (四人) (成績順)		
大森 續三 (愛知)	竹 島 馨一 (山口)	前田儀作 (東京)
明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (三人) (成績順)		
岡見潤吉 (京都)	瀧 文 宣 (香川)	梅澤銀造 (宮城)
大正二年三月第十五回專修科修了生 (三人) (成績順)		
尾瀬敬止 (京都)	黒石信一 (東京)	長谷部照伍 (神奈川)
大正四年三月第十六回專修科修了生 (二人) (成績順)		
關 餘 作 (北海道)	神 田 榮 (山口)	
大正五年三月第十七回專修科修了生 (四人) (成績順)		
桑木崇明 (東京)	玉 木 時 哉 (新潟)	外山高 一 (東京)
大正六年三月第十八回專修科修了生 (六人) (成績順)		
原 久一郎 (新潟)	中村良之助 (東京)	恒川助次郎 (愛知)
岡部直三郎 (廣島)	中村正明 (埼玉)	渡邊 秀一 (東京)
遠藤勝太郎 (東京)		

大正七年三月第十九回專修科修了生 (十二人) (成績順)

佐々木嘉吉 (愛媛)	大高義尾 (東京)	田代己代次 (東京)	鈴木光三郎 (福島)
須田正繼 (山梨)	茂呂憲吉 (東京)	香川正雄 (岡山)	檜垣春三 (廣島)
白石實三 (群馬)	岡上守道 (高知)	松本欽一郎 (佐賀)	橋本榮一 (岡山)

大正八年三月第二十回專修科修了生 (八人) (成績順)

田淵誠一 (東京)	園部正一 (岐阜)	田島彰 (愛知)	川井田 倫 (鹿児島)
茂木剛三郎 (東京)	關矢恕一 (新潟)	大塚清 (兵庫)	星 榮三郎 (宮城)

大正九年三月第二十一回專修科修了生 (六人) (ABC順)

秋本宗市 (山口)	清見博見 (岩手)	永井誠也 (京都)
飯田武英 (東京)	草野成一 (福岡)	山縣竹志 (東京)

大正十年三月第二十二回專修科修了生 (九人) (ABC順)

藤田純三 (三重)	中村 禧 (山梨)	鈴木孝敬 (東京)
布施政信 (東京)	大友忠五郎 (岩手)	高橋好三 (埼玉)
蜂須賀寛雄 (徳島)	白石信親 (熊本)	高桑榮祐 (富山)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生 (十二人) (ABC順)

藤井三吉 (群馬)	福岡正生 (北海道)	發 一平 (東京)	岩本嘉一 (青森)
-----------	------------	-----------	-----------

北島 守 (静岡)	名 越 修 (東京)	澤 宣 治 (東京)	植松茂雄 (大阪)
松本國治 (鹿児島)	佐野 英 (山梨)	武山十一夫 (東京)	山崎嘉兵衛 (東京)

伊語學科

明治三十四年七月第一回別科修了生

(一人)

平松 巖比古(和歌山)

明治三十五年七月第二回別科修了生

(一人)

森田 鐵三郎(新潟)

明治三十六年七月第三回別科修了生

(一人)

菅野 眞(宮城)

明治四十五年三月第四回專修科修了生

(一人)

佐々木 喜市(大阪)

大正三年三月第五回專修科修了生

(一人)

下位 春吉(東京)

大正四年三月第六回專修科修了生

(一人)

柳 英一郎(新潟)

大正五年三月第七回專修科修了生

(一人)

伊東 廣雄(長野)

大正六年三月第八回專修科修了生

(二人)

(成績順)

井岡 邦雄(東京)

大正七年三月第九回專修科修了生

(三人)

(成績順)

牛山 充(長野)

大正九年三月第十回專修科修了生

(二人)

(ABC順)

林 竹次郎(東京)

今關 達也(千葉)

(二人)

(ABC順)

中岡 彌高(岡山)

(一人)

坂本 竹藏(東京)

西語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (二人) (いろは順)

渡邊 清 (東京) 津田 弘季 (岡山)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (一人)

堀口 福彦 (岡山)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (一人)

鈴木 三郎 (千葉)

明治三十八年七月第四回專修科(別科改稱)修了生 (五人) (いろは順)

伊藤恒太郎 (山口) 齋藤 惣吉 (山口) 進藤 信雄 (群馬)

×大塚 修 (愛媛) 眞田 五十吉 (東京)

明治四十年三月第五回專修科修了生 (五人) (いろは順)

橋本 靜 (滋賀) 片山 謙 (徳島) 宮崎 信造 (福岡)

加藤順之介 (茨城) 大野 基尙 (大分) 明治四十一年三月第六回專修科修了生 (三人) (いろは順)

緒田原重雄 (福岡) 加毛 肇 (三重) 吾妻捨吉 (宮城)

明治四十二年三月第七回專修科修了生 (二人) (いろは順)

國久作之助 (福井) 杉本 精 (東京)

明治四十三年三月第八回專修科修了生 (五人) (いろは順)

富田義男 (福島) 若林 高彦 (愛知) 鈴木眞靜 (兵庫)

尾崎光美 (宮崎) 田山 保世 (東京)

大正二年三月第九回專修科修了生 (三人) (成績順)

胸崎秀胤 (兵庫) 齋藤 準平 (宮城) 田代巳代次 (東京)

大正十一年三月第十回專修科修了者 (九人) (ABC順)

淺川一衛 (廣島) 來生 鐵彌 (山形) 中野 哲雄 (鹿児島)

石井重正 (茨城) 日下部昌勝 (宮城) 岡本良知 (富山)

加藤忠八 (新潟) 長島 壽義 (東京) 高瀬房吉 (福島)

葡語學科

大正七年三月第一回專修科修了生 (四人) (成績順)
 十川成一 (山口) 副島五十二 (東京) 山崎幾平 (靜岡) 石原昌榮 (北海道)
 大正八年三月第二回專修科修了生 (二人) (成績順)
 ○笠井儀夫 (岡山) 大西浩太 (岡山)

支那語學科

(舊稱清語學科)

大正二年改正

明治三十二年七月第一回別科修了生 (六人) (いろは順)
 泉水信太郎 (千葉) 加納政太郎 (東京) 坂野竹之助 (茨城) 日高賢吉郎 (長崎)
 小川運平 (埼玉) 鎌田彌助 (鹿兒島) (七人) (いろは順)
 明治三十三年七月第二回別科修了生 (七人) (いろは順)
 龜山玄明 (岐阜) 田中慶太郎 (京都) 大久保家道 (東京) 福崎三次郎 (鹿兒島)
 高岩勘次郎 (福岡) 中島比多吉 (埼玉) (十七人) (いろは順)
 明治三十四年七月第三回別科修了生 (十七人) (いろは順)
 稻澤珍三郎 (宮崎) 成田文太夫 (宮城) 大久保宜家 (東京) 白藤芳夫 (東京)
 岡田瓢 (長野) 中田金次郎 (東京) 菊池三九郎 (東京) 關菊麿 (京都)
 小澤銀十郎 (長野) 村上久吉 (東京) 菊川龜次郎 (熊本) 岸峰治郎 (鳥取)
 唐澤祐慶 (東京) 大橋末彦 (東京) 皆川秀孝 (茨城) (十一人) (いろは順)
 高比良勝二 (長崎) 太田繁 (東京)
 明治三十五年七月第四回別科修了生 (十一人) (いろは順)
 田中政吉 (兵庫) 黒澤兼次郎 (富山) 兒玉純 (鹿兒島) 秋吉英三 (東京)
 宅野潔 (山口) 桑原壽一 (山口) 遠藤三藏 (兵庫) 菊地崇 (茨城)
 村田鐵三郎 (愛媛) 松井英一郎 (岐阜) 赤澤宇之助 (鹿兒島)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十三人) (いろは順)

菅沼佐喜男 (三重)

吉田典三郎 (滋賀)
芳野五郎 (東京)
仲西次郎 (福岡)
中川四郎 (愛媛)

奥田 猛 (兵庫)
山田茂三郎 (富山)
古谷鐵之助 (東京)
小池英次 (福島)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十二人) (いろは順)

入澤 豐 (東京)
金田雄次 (静岡)
只野重次郎 (宮城)

淺井周治 (愛媛)
北村一郎太 (長崎)
宮越健太郎 (新潟)
須賀幸太郎 (群馬)

明治三十八年七月第七回專修科修了生

(十九人) (いろは順)

岩村成中 (千葉)
石原新七 (埼玉)
西田周平 (富山)
岡山周藏 (兵庫)
荻島四三二 (東京)

津田 榮 (大阪)
久保清吉 (廣島)
福田清一 (群馬)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(十七人) (いろは順)

遠山吉之介 (愛知)
德永政一 (山口)
富田康平 (静岡)

山崎成太郎 (奈良)
松本義圓 (廣島)
卷雄四郎 (東京)
福田 勇 (岐阜)
青木金太郎 (奈良)

新井信次 (東京)
天野准一 (愛知)
安藤堅次 (岐阜)
森山德助 (島根)

寺境 彌 (東京)
荒川 德一 (東京)

齊藤伊右衛門 (東京)
佐々木三利 (福井)

木下茂雄 (東京)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十四人) (いろは順)

伊藤東一郎 (岩手)
池田色太郎 (山形)
濱野萬吉 (東京)
長谷川豐男 (埼玉)
西島德太郎 (東京)
小川吉之助 (東京)

小山義龜 (福岡)
龜山 猛治 (北海道)
上遠野 武 (宮城)
浦田 二郎 (東京)
大野 登實吉 (宮崎)
大野 郷夫 (東京)

黒田茂八 (富山)
山本寅雄 (東京)
福田榮治 (埼玉)
近藤菊雄 (富山)
朝比奈泰吉 (兵庫)
木村重藏 (福島)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十六人) (いろは順)

今藏熊太郎 (東京)
村田友三郎 (栃木)
植田 一夫 (神奈川)
栗山勝正 (山口)

山田謙次郎 (新潟)
松脇正昇 (東京)
後藤勢一 (香川)
手塚武義 (山梨)

酒葉道信 (東京)
三枝一郎 (東京)
鮫島時應 (鹿児島)
水谷一之亮 (三重)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(十三人) (いろは順)

新島謙吉 (東京)
神谷豐左衛門 (愛知)
高橋貞之助 (東京)
中路留吉 (福島)

中川好助 (静岡)
中山忠次 (和歌山)
長崎元一 (東京)
村田春江 (千葉)

山田久太郎 (富山)
山根藤七 (島根)
齋藤清俊 (秋田)
菱伊新三郎 (宮城)

菅 真人 (愛知)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生

(十人) (いろは順)

市川保一 (東京)

脇川文近 (長崎)

矢部力雄 (群馬)

宮崎太郎 (東京)

今井健彦 (静岡)

内藤繁治 (東京)

山田萬助 (東京)

秩父固太郎 (東京)

中村米壽 (長野)

小池二郎 (東京)

長谷部 巖 (岐阜)

太田資事 (茨城)

杉山喜平 (大阪)

岡松象雄 (大分)

片桐 晴 (新潟)

竹内源次郎 (福岡)

加藤建次郎 (愛知)

島田 一郎 (埼玉)

中村三藏 (香川)

今井仁平 (兵庫)

荒井 恰 (愛知)

吉田壽三郎 (熊本)

櫻庭 巖 (青森)

濱中直樹 (静岡)

牧野鐵太郎 (愛知)

門馬福之進 (福島)

菊地篤三 (千葉)

中川 宮 (神奈川)

林 林之介 (東京)

兒玉豪雄 (廣島)

小山清次 (東京)

内田松三郎 (愛知)

原田三平 (山口)

石田 力 (東京)

志摩 英 (神奈川)

山寺吉之助 (千葉)

奥山 巖 (大阪)

時田傳左衛門 (埼玉)

貴志正雄 (和歌山)

高橋 弘 (東京)

坪倉俊之助 (群馬)

長江信之助 (栃木)

大正九年三月第十七回專修科修了生 (五人) (ABC順)

藤澤的一 (大分)

守谷武文 (東京)

數納兵治 (富山)

金森良介 (愛知)

篠原 利 (山梨)

竹村虎之助 (東京)

飯田隆治 (東京)

黒岩 幸男 (群馬)

佐藤昇衛 (新潟)

大正十年三月第十八回專修科修了者 (七人) (ABC順)

小山 豊 (東京)

松浦珪三 (長崎)

田 中 豊 (愛知)

大正十一年三月第十九回專修科修了者 (九人) (ABC順)

藤井啓二 (富山)

中原仁平 (鳥取)

鈴木榮助 (東京)

北川參治 (岐阜)

大出雄造 (栃木)

田村誠意 (東京)

橋川昌吉 (神奈川)

大森常勝 (愛媛)

鳥居利三郎 (京都)

田代巳代次 (東京)

朝鮮語學科

(舊稱韓語學科)

明治四十四年一月改稱

明治三十四年七月第一回別科修了生

(一人)

井上安次郎 (京都)

明治三十九年七月第二回專修科(別科改稱)修了生

(五人)

(いろは順)

岡本樽之助 (東京)

村木

流

(三重)

杉原惣太郎 (福島)

七邊格太郎 (岡山)

比佐祐次郎 (秋田)

明治四十年三月第三回專修科修了生

(一人)

新納賢司 (東京)

明治四十一年三月第四回專修科修了生

(二人)

(いろは順)

西村獅子雄 (岐阜)

宮崎道雄 (三重)

明治四十二年三月第五回專修科修了生

(二人)

(いろは順)

大谷任功 (福島)

三宅知之 (東京)

明治四十三年三月第六回專修科修了生

(四人)

(いろは順)

多田 闇 (鳥取)

田村京吉 (岩手)

有山謙藏 (埼玉)

三好春雄 (東京)

明治四十四年三月第七回專修科修了生

(二人)

(成績順)

青木正春 (山口)

大橋 矩 (東京)

明治四十五年三月第八回專修科修了生

(三人)

(成績順)

藤田 勇 (鹿児島)

南 文止 (大分)

山根藤七 (島根)

速成科修了生 (成績順)

伊語部

大正十一年三月第一回修了者 (十二名) (ABC順)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 平谷順三 (三重) | 杵淵 勇 (長野) | 增井芳男 (静岡) | 田代巳代次 (東京) |
| 池野寅三 (東京) | 小島齋志 (愛媛) | 長野時雄 (滋賀) | 若森直喜 (東京) |
| 神原 泰 (東京) | 高 興 濂 (朝鮮) | 大野信三 (東京) | 渡邊紳一郎 (鳥取) |

西語學科

大正三年三月第一回修了生 (五人)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 大須 勝 (東京) | 徳原寛一 (徳島) | 岩淵繁樹 (東京) |
| 中西 毅 (北海道) | 大伏康平 (徳島) | |

大正四年三月第二回修了生 (九人)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 山田鐵彦 (大阪) | 菊池治三郎 (愛媛) | 本多次郎 (三重) |
| 加畑伊輔 (京都) | 門林安郎 (大阪) | 鈴木亨三 (三重) |
| 久保田 昇 (長崎) | 服部定雄 (三重) | 野田茂一郎 (熊本) |

大正五年三月第三回修了生 (九人)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 十川成一 (山口) | 樋畑正巳 (東京) | 黒石元次 (山口) |
| 濱崎龜太郎 (東京) | 波部 登 (島根) | 姫井昇一 (岡山) |
| 松平 梨 (東京) | 有地了三 (廣島) | 中島直己 (東京) |

支那語學科

大正三年三月第一回修了生

(九人)

戸川健三 (大阪)
伊藤時雄 (長野)
荒井敏郎 (徳島)

山口勝也 (神奈川)
塚越島十郎 (群馬)
渡邊紀平 (新潟)

大正四年三月第二回修了生

(八人)

渡邊哲 (茨城)
小玉英一 (愛知)
豊島五六 (東京)

河相新 (朝鮮)
尹亮求 (朝鮮)
木下淺吉 (佐賀)

土井豊 (愛媛)
下川末市 (長崎)

大正五年三月第三回修了生

(十三人)

米村滿男 (熊本)
齋藤忠雄 (大分)
雨宮正雄 (愛知)
森忠雄 (愛知)

廣瀬主殿 (山梨)
大丸鐵太郎 (東京)
水坂貞雄 (愛知)
森脇忠敏 (埼玉)

長島五三郎 (兵庫)
恒川泰次 (奈良)
多田慶明 (愛媛)
木原文彌 (滋賀)

大正六年三月第四回修了生

(十四人)

鈴木辰太郎 (栃木)

平野賢吉 (千葉)
川尻忠 (秋田)

田邊桑三郎 (島根)
柏木 葉 (兵庫)
寺村豊次郎 (滋賀)
徳久虎之助 (佐賀)

菱沼文二 (宮城)
今關達也 (千葉)
板倉與三郎 (熊本)
平井清 (宮城)

村江汎之 (鳥取)
竹中京太郎 (東京)
青木金之助 (東京)
大倉明三郎 (東京)

大正七年三月第五回修了生

(九人)

池田佐久馬 (長崎)
石山陽三 (埼玉)
中川敬治 (京都)

成島武八 (茨城)
松山悦次郎 (愛知)
大和田藤馬 (福島)

清島重徳 (東京)
柳澤五郎 (長野)
伊部唯一 (福井)

朝鮮語學科

大正三年三月第一回修了生 (五人)

- 副島壽人 (長崎)
- 鬼塚隆藏 (東京)
- 小瀬村龜三 (神奈川)
- 高瀬由巳 (大分)
- 山本元次郎 (千葉)

大正十一年三月第二回修了生 (二人) (ABC順)

- 平井良雄 (香川)
- 中村又一 (佐賀)

蒙古語部 (二人)

渡邊卯一郎 (新潟)

馬來語部 (五人) (ABC順)

- 府川辰造 (神奈川)
- 壺川峻一 (長野)
- 牛島國光 (東京)
- 沼邊武 (東京)
- 武田幸太郎 (岡山)

ヒンドスタニ語部 (二人)

岡野一喜 (石川)

明治四十年三月速成科修業生 明治三十九年三月設置同四十年三月廢止 修業年限一ケ年 授業時數一週二十二時間

露語學科 (十九人) (いろは順)

- 渡邊源四郎 (石川)
- 根岸伊七 (群馬)
- 福井敬藏 (東京)
- 程田藤吉 (東京)
- 奥山光茂 (鹿兒島)
- 高範中 (清國)
- 三浦安兵衛 (愛知)
- 戸川末三 (東京)
- 押見寅之助 (東京)
- 厚美清太郎 (徳島)
- 鹽田彌惣八 (滋賀)
- 竹室卯造 (兵庫)
- 山口甲子男 (静岡)
- 秋草愛一 (群馬)
- 茂木徳音 (長野)
- 宗文江 (東京)
- 保田宗治郎 (神奈川)
- 湯淺誠作 (群馬)

清語學科 (二十九人) (いろは順)

- 岩本正木 (長野)
- 辰川實 (愛媛)
- 松田知禮 (愛媛)
- 林善一 (東京)
- 竹中信以 (東京)
- 松浦捨吉 (和歌山)
- 岸田國太郎 (京都)
- 西山章二 (福島)
- 塚原守重 (山梨)
- 藤岡藤市 (徳島)
- 澁谷兵八 (岐阜)
- 清水清次 (山形)
- 細川久 (岩手)
- 長竹元吉 (千葉)
- 舟津勝三 (東京)
- 鈴木一良 (東京)
- 鈴木榮之丞 (長野)
- 土井芳輔 (山口)
- 中村春之助 (神奈川)
- 江口是三郎 (佐賀)
- 川谷宮太郎 (高知)
- 中村惠延 (埼玉)
- 新井慶太郎 (埼玉)
- 立花慶應 (福岡)
- 矢野繁之丞 (岩手)
- 秋元雄治 (群馬)
- 高山好 (新潟)
- 松岡龍吉 (岐阜)
- 酒井恒記 (愛媛)

韓語學科 (十四人) (いろは順)

速成科修業生 露語學科 清語學科 韓語學科

池田傳次 (秋田)	野澤寛一 (新潟)	松岡末廣 (愛媛)	島谷直方 (富山)
石川竹三郎 (埼玉)	興津健夫 (東京)	足助嘉一郎 (長野)	墨家兒 (愛知)
田中徳太郎 (青森)	黒羽資明 (茨城)	北山清 (茨城)	
中澤鐵太郎 (東京)	山中忠太 (三重)	宮崎侃 (東京)	

東洋語速成科修業生 馬來語學科

明治四十四年四月設置同四十四年三月廢止
修業年限 一年
授業時數 週二十二時間

明治四十二年三月第一回修業生 (十六人)

飯塚重一 (埼玉)	加藤治躬 (静岡)	中島懋一 (東京)	松井秀三 (鳥取)
林虎太 (香川)	笠村思敬 (栃木)	宇野耕雲 (東京)	松信春之助 (茨城)
小野良吉 (大分)	田中與平多 (長野)	野口郁彦 (北海道)	近藤正二 (東京)
萩島良三 (埼玉)	中村庄太郎 (福井)	久保田善一郎 (茨城)	寺尾熊次 (北海道)

明治四十三年三月第二回修業生 (二人) (いろは順)

×岩室哲次郎 (廣島) 秋保俊治 (宮城)

明治四十四年三月第三回修業生 (四人) (成績順)

森田三郎 (東京)	板垣龍三 (山形)	木全省吾 (愛知)	山道儀三郎 (群馬)
-----------	-----------	-----------	------------

ヒンドスタニ語學科

明治四十二年三月第一回修業生 (十二人) (いろは順)

稻見憲吉 (栃木)	小栗明 (岐阜)	金村貞太郎 (東京)	鷹屋祐攝 (富山)
-----------	----------	------------	-----------

武關 久壽 (栃木) 上田 孝三 (三重) 大澤 友吉 (千葉) 赤羽 宇重 (長野)

土屋 政次郎 (岡山) 鶴飼 仙之助 (岐阜) 山室 廉吉 (宮崎) 阿滿 得壽 (京都)

石山 善壽 (栃木) 野口 一三郎 (新潟) (二人) (いろは順)

明治四十三年三月第二回修業生 (五人) (成績順)

豐田 忠太郎 (石川) 神崎 友吉 (栃木) 横山 金三郎 (滋賀)

渥味 蟹 (静岡) 江尻 正一 (茨城)

タミル語學科

明治四十二年三月第一回修業生 (四人) (いろは順)

田中 俊三 (和歌山) 柳田 光之助 (東京) 秋元 善藏 (青森) 三宅 正 (愛媛)

明治四十三年三月第二回修業生 (二人) (いろは順)

和田 逸三 (兵庫) 渥味 蟹 (静岡)

蒙古語學科

明治四十二年三月第一回修業生 (六人) (いろは順)

石山 福治 (新潟) 西田 興左衛門 (東京) 吉田 順三 (東京) 中島 友次郎 (群馬)

藤森 勇 (長野) 三俣 二郎 (群馬)

明治四十三年三月第二回修業生 (三人) (いろは順)

高橋 安親 (新潟) 高田 治作 (北海道) 猪狩 重光 (北海道)

明治四十四年三月第三回修業生 (七人) (成績順)

神谷 衛平 (東京) 宮島 鹿雄 (佐賀) 淺野 睦 (東京) 片野 孝三 (福島)

笠井 清三郎 (三重) 大地 亮平 (千葉) 脇川 文近 (長崎)

伊語特別科修了生 支那語特別科修了生 教員養成所卒業生

東京音樂學校委託伊語特別科修了生

修業年限二ヶ年 授業時數一週六時間

大正三年三月修了生

松島 舞 (東京)

東京府委託支那語特別科修業生

修業年限二ヶ年 授業時數一週六時間

大正七年七月修業生

(十八人)

(成績順)

天野源一 (静岡)
矢野重弘 (北海道)
樺祥次 (熊本)
日下定次郎 (東京)
原西季雄 (東京)

松本篤太郎 (東京)
安藤義照 (東京)
漆畑五郎 (静岡)
中山武 (廣島)
杉浦鉦一 (愛知)

原義一良 (東京)
増田達雄 (滋賀)
神保文一 (東京)
萩谷直 (茨城)
堀井芳三郎 (京都)

宮城富朗 (東京)
松平勇 (愛知)
藤野周太郎 (大阪)

第五臨時教員養成所卒業生

明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止
英語科、修業年限二ヶ年

明治三十七年三月第一回卒業生

(二十六人)

(いろは順)

泉本覺一 (奈良)
池田朝長 (東京)

芳賀重治 (宮城)
橋村惠五郎 (高知)
二瓶兵二 (福島)
越智國一 (愛媛)
小川政之助 (香川)

明治三十九年三月第二回卒業生

(二十五人)

(いろは順)

傍士瀧治 (高知)
西村昂三 (島根)
堀尾柳市 (島根)
本郷良喜治 (宮城)
富永置三 (東京)
小田四郎 (宮崎)
加藤治躬 (静岡)

岡村邦雄 (三重)
小野襄 (青森)
川瀬兼治 (山形)
金井中三郎 (群馬)
高橋良一 (岩手)
並河良孝 (島根)
向高良夫 (宮崎)

梅谷興一 (埼玉)
國枝昇 (熊本)
八十與一 (兵庫)
山田孝太郎 (茨城)
山本市太郎 (島根)
小林光 (東京)
江副秀喜 (熊本)

坂部和三郎 (愛知)
木下芳雄 (東京)
森照 (大分)
關怡 (鹿兒島)
鈴木康 (栃木)

清水勇 (愛媛)
平岩元吉 (愛知)
須藤參治 (岩手)
鈴木龜壽 (東京)

教員養成所卒業生

一 東京外國語學校校友會規則

第一章 名稱及目的

第一條 本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ交誼ヲ厚フシ心身ヲ鍛鍊シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章 會員

第三條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一、正會員

一、特別會員

一、贊助會員

一、名譽會員

第四條 本校本科生及ビ選科生ハ正會員タルベキモノトス

第五條 本校職員ヲ特別會員トス

第六條 本校卒業生ヲ贊助會員トス

第七條 本校ニ縁故アリ本會ノ目的ヲ賛成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章 部門

第八條 本會ニ左ノ六部ヲ置ク

第一部 武術部

第二部 陸上運動部

第三部 水上運動部

第四部 文藝部

第五部 辯論部

第六部 語學大會

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

但必要ノ場合ニハ臨時委員ヲ置ク事ヲ得

會長 一名

部長 六名

幹事 三十六名(内譯 第一部四名、第二部四名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名)

主計 一名

第十條 會長ハ東京外國語學校長之ニ當ル

第十一條 會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス

第十二條 副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第十三條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル

副會長 一名

評議員 十五名以内

委員 各級一名

錄事 一名

- 第十四條 部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ囑託ス
- 第十五條 部長ハ各部ノ事務ヲ掌理ス
- 第十六條 評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第十七條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス
- 第十八條 幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ任命ス
- 第十九條 幹事ハ部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス
- 第二十條 委員ハ各級ヨリ一名ヲ互選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス
- 第二十一條 主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル
- 第二十二條 録事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記録ヲ掌ル
- 第二十三條 本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス
但毎年四月ヲ以テ任期ノ始トス
- 第二十四條 各役員會ハ役員ノ半數以上ノ出席者アルニアラサレバ成立セザルモノトス

第五章 役員會

- 第二十五條 役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス
- 第二十六條 各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

- 第二十七條 本會會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス
- 第二十八條 次年度ノ豫算ハ毎年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ査定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ認可ヲ經テ決定ス
- 第二十九條 正會員ハ入會金金貳圓及會費年額金拾圓ヲ納ムベシ
但入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ内金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ第一學期金五圓第二學期金參圓第三學期金貳圓ヲ授業科ト同時ニ納ムベシ
- 第三十條 特別會員ハ毎月俸給月額百二十五分ノ一(外國人ハ二百分ノ一)ヲ寄附ス
- 第三十一條 名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セズ
- 第三十二條 本會ノ決算ハ毎年六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クベシ

第七章 基本金

- 第三十三條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス
- 第三十四條 本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三十五條 基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ得ズ
但利子ハ當分ノ内基本金ニ繰入ル、モノトス
- 第三十六條 有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

第八章 規則改正

第三十七條 本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得
(附則) 本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス

大正十年六月末日改正

二 東京外國語學校同窓會規則

名稱

第一條 本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

目的

第二條 本會ハ堅實ナル學風ノ樹立ト同窓ノ親睦ヲ厚フスルヲ以テ目的トス

會員

第三條 本會々員ハ分チテ正會員名譽會員ノ二種トス

第四條 東京外國語學校本科出身者ハ入會ノ手續ニ依ラズシテ正會員タルモノトス
但其他ノ出身者及嘗テ本校ニ在學セシモノハ希望ニヨリ正會員タルコトヲ得

第五條 東京外國語學校在職ノ教職員及關係者ヲ名譽會員トス

役員

第六條 本會ニ幹事及委員ヲ置ク

第七條 委員ハ總會ニ於テ各語學科毎ニ五名以内ヲ選出ス

第八條 幹事ハ十二名トシ委員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第九條 幹事委員ノ任期ハ各二ケ年トス

第十條 幹事ハ會務一切ヲ處理ス
第十一條 委員ハ幹事ヲ補佐シ會務ニ當ル

會計

第十二條 正會員ハ毎年會費トシテ金壹圓ヲ納付スルモノトス
但一時金拾五圓也ヲ納付シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セズ
第十三條 資金ハ本會直接ノ業務ニ要スルモノ、外一切支出スルコトヲ得ズ
第十四條 資金支出殘額ハ年々決算ノ上基本金ニ編入ス
第十五條 會計年度ハ毎年九月一日ヨリ翌年八月末日迄トス
第十六條 本會々計報告ハ總會ニ於テ之レヲ行フ
第十七條 本會ノ基礎ヲ確實ナラシムル爲メ基本金制度ヲ設ク
第十八條 基本金ハ銀行ニ預入レ幹事之レヲ保管ス

會合

第十九條 本會總會ハ毎年十月之レヲ開ク
但役員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得
第二十條 幹事ハ毎月一回會合シテ事務ヲ處理ス
第二十一條 委員ハ隔月一回會合シテ會務ヲ議決ス

但必要ニ應ジ臨時之ヲ開クコトヲ得

會務

第二十二條 本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス
第二十三條 本會々員ニシテ異動シタルトキハ直チニ本部宛ニテ通知スル義務アルモノトス
規則變更

第二十四條 本會々則ノ變更ハ總會ノ際出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

支部

第二十五條 各地ニ支部ヲ置ク
但支部規則ハ各地ニテ本則ニ準ジ適宜之レヲ定ム

附則

第二十六條 本會ノ目的ヲ達センガ爲メ隨時諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

附記

本會事務所ハ東京外國語學校内ニ置ク

基本金制度

一、本會規則第十七條ニ依リ基本金制度ヲ設ク
二、基本金ハ本會々員及其ノ他有志者ヨリ募集ス

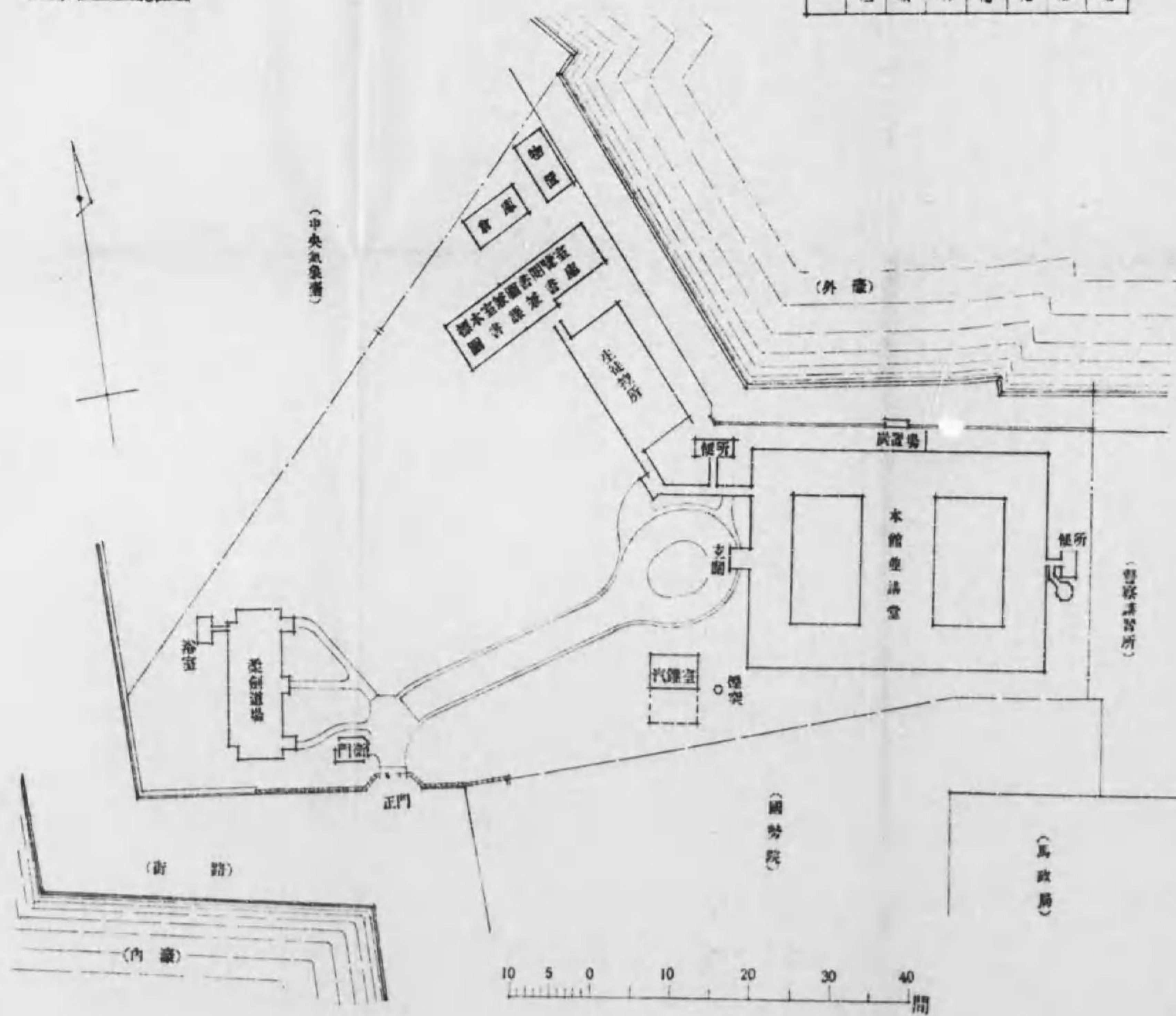
- 三、基本金ノ寄附ハ一口金五圓也トス
但一人二口以上申込ムコトヲ得
- 四、基本金ノ寄附ハ一時拂込ミトス
但ニケ年四回ニ分チ拂込ムモ妨ゲ無シ

姓名	住所	職業	備考
田中 一郎	東京市丸の内区	銀行員	
山田 健二	東京市千代田区	会社員	
佐藤 三郎	東京市中央区	自営業	
鈴木 四郎	東京市港区	会社員	
高橋 五郎	東京市目黒区	会社員	
橋本 六郎	東京市豊島区	会社員	
石川 七郎	東京市台東区	会社員	
渡辺 八郎	東京市墨田区	会社員	
伊藤 九郎	東京市江東区	会社員	
松本 十郎	東京市荒川区	会社員	
山崎 十一郎	東京市足立区	会社員	
佐々木 十二郎	東京市葛飾区	会社員	
木村 十三郎	東京市江戸川区	会社員	
水野 十四郎	東京市練馬区	会社員	
森田 十五郎	東京市板橋区	会社員	
山口 十六郎	東京市文京区	会社員	
斎藤 十七郎	東京市目黒区	会社員	
高木 十八郎	東京市豊島区	会社員	
橋本 十九郎	東京市豊島区	会社員	
石川 二十郎	東京市豊島区	会社員	
渡辺 二十一年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 二十二年	東京市豊島区	会社員	
松本 二十三年	東京市豊島区	会社員	
山崎 二十四年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 二十五年	東京市豊島区	会社員	
木村 二十六年	東京市豊島区	会社員	
水野 二十七年	東京市豊島区	会社員	
森田 二十八年	東京市豊島区	会社員	
山口 二十九年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 三十年	東京市豊島区	会社員	
高木 三十一年	東京市豊島区	会社員	
橋本 三十二年	東京市豊島区	会社員	
石川 三十三年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 三十四年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 三十五年	東京市豊島区	会社員	
松本 三十六年	東京市豊島区	会社員	
山崎 三十七年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 三十八年	東京市豊島区	会社員	
木村 三十九年	東京市豊島区	会社員	
水野 四十年	東京市豊島区	会社員	
森田 四十一年	東京市豊島区	会社員	
山口 四十二年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 四十三年	東京市豊島区	会社員	
高木 四十四年	東京市豊島区	会社員	
橋本 四十五年	東京市豊島区	会社員	
石川 四十六年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 四十七年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 四十八年	東京市豊島区	会社員	
松本 四十九年	東京市豊島区	会社員	
山崎 五十年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 五十一年	東京市豊島区	会社員	
木村 五十二年	東京市豊島区	会社員	
水野 五十三年	東京市豊島区	会社員	
森田 五十四年	東京市豊島区	会社員	
山口 五十五年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 五十六年	東京市豊島区	会社員	
高木 五十七年	東京市豊島区	会社員	
橋本 五十八年	東京市豊島区	会社員	
石川 五十九年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 六十年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 六十一年	東京市豊島区	会社員	
松本 六十二年	東京市豊島区	会社員	
山崎 六十三年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 六十四年	東京市豊島区	会社員	
木村 六十五年	東京市豊島区	会社員	
水野 六十六年	東京市豊島区	会社員	
森田 六十七年	東京市豊島区	会社員	
山口 六十八年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 六十九年	東京市豊島区	会社員	
高木 七十年	東京市豊島区	会社員	
橋本 七十一年	東京市豊島区	会社員	
石川 七十二年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 七十三年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 七十四年	東京市豊島区	会社員	
松本 七十五年	東京市豊島区	会社員	
山崎 七十六年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 七十七年	東京市豊島区	会社員	
木村 七十八年	東京市豊島区	会社員	
水野 七十九年	東京市豊島区	会社員	
森田 八十年	東京市豊島区	会社員	
山口 八十一年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 八十二年	東京市豊島区	会社員	
高木 八十三年	東京市豊島区	会社員	
橋本 八十四年	東京市豊島区	会社員	
石川 八十五年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 八十六年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 八十七年	東京市豊島区	会社員	
松本 八十八年	東京市豊島区	会社員	
山崎 八十九年	東京市豊島区	会社員	
佐々木 九十年	東京市豊島区	会社員	
木村 九十一年	東京市豊島区	会社員	
水野 九十二年	東京市豊島区	会社員	
森田 九十三年	東京市豊島区	会社員	
山口 九十四年	東京市豊島区	会社員	
斎藤 九十五年	東京市豊島区	会社員	
高木 九十六年	東京市豊島区	会社員	
橋本 九十七年	東京市豊島区	会社員	
石川 九十八年	東京市豊島区	会社員	
渡辺 九十九年	東京市豊島区	会社員	
伊藤 一〇〇年	東京市豊島区	会社員	

東京外國語學校
縮尺千二百分ノ壹
建物配置圖

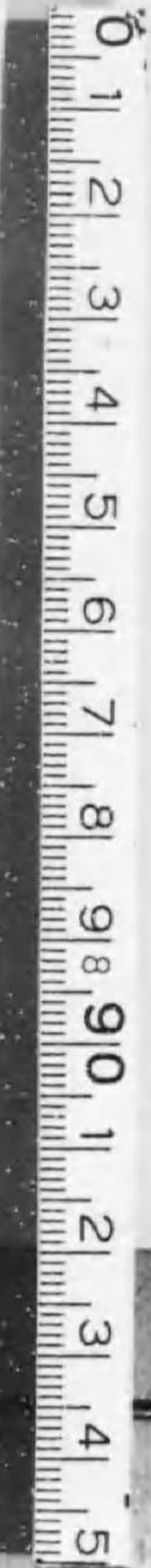
凡 例

混	石	石	木	塗	建
造	垣	垣	造	物	物
瓦			物		
葺					



建物坪數表

名稱	種類	坪數	延坪數
本館	木造瓦葺	第一階	677.500
		第二階	671.250
		第三階	554.250
生徒控所	木造スレート葺	一階	112.000
		中二階	9750
洋館道場	木造スレート葺	差別道場	112.500
		浴場及便所	6.000
		渡廊下	1.500
図書室	コンクリートブロック積	階上	119.562
		階下	119.562
倉庫	鐵筋ブロック積	階上	30.000
		階下	30.000
物置	木造瓦葺	30.000	30.000
汽鍋室	木造スレート葺	汽鍋室	24.000
		石炭置場	4.000
門衛所	木造天然スレート葺	8.743	8.743
便所	木造瓦葺	外人用便所	2.800
		東便所	6.000
		西便所	10.000
渡廊下	木造瓦葺	幅 7.5 尺	39.477
		幅 6.0 尺	7.375
		幅 4.7 尺	2.600
炭置場		2.500	2.500
建物總延坪數			2,581.369
建物總建坪數			1,196.557
敷地坪數			5,303.135



東京外國語學校
 縮尺六百分ノ位

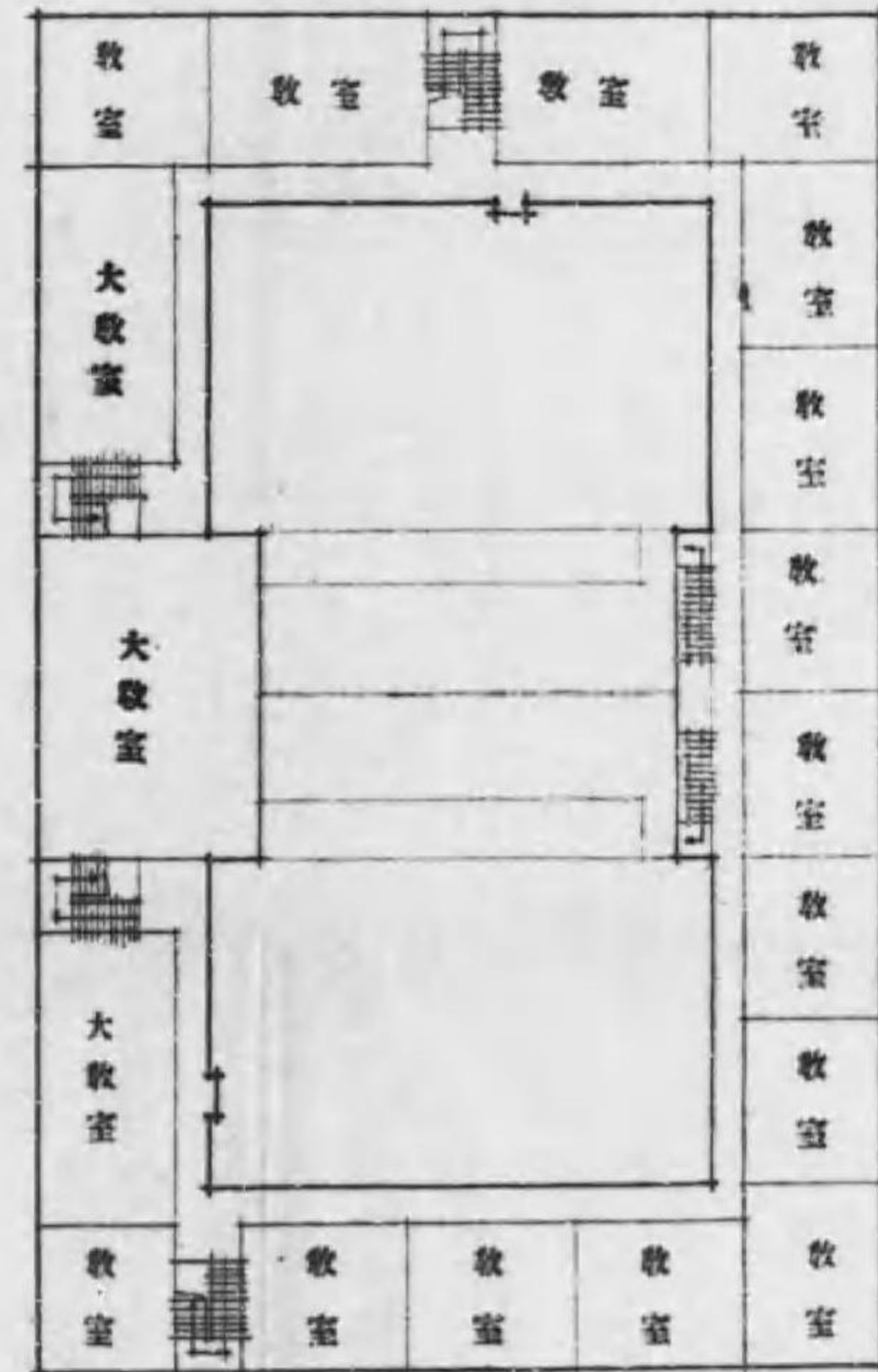
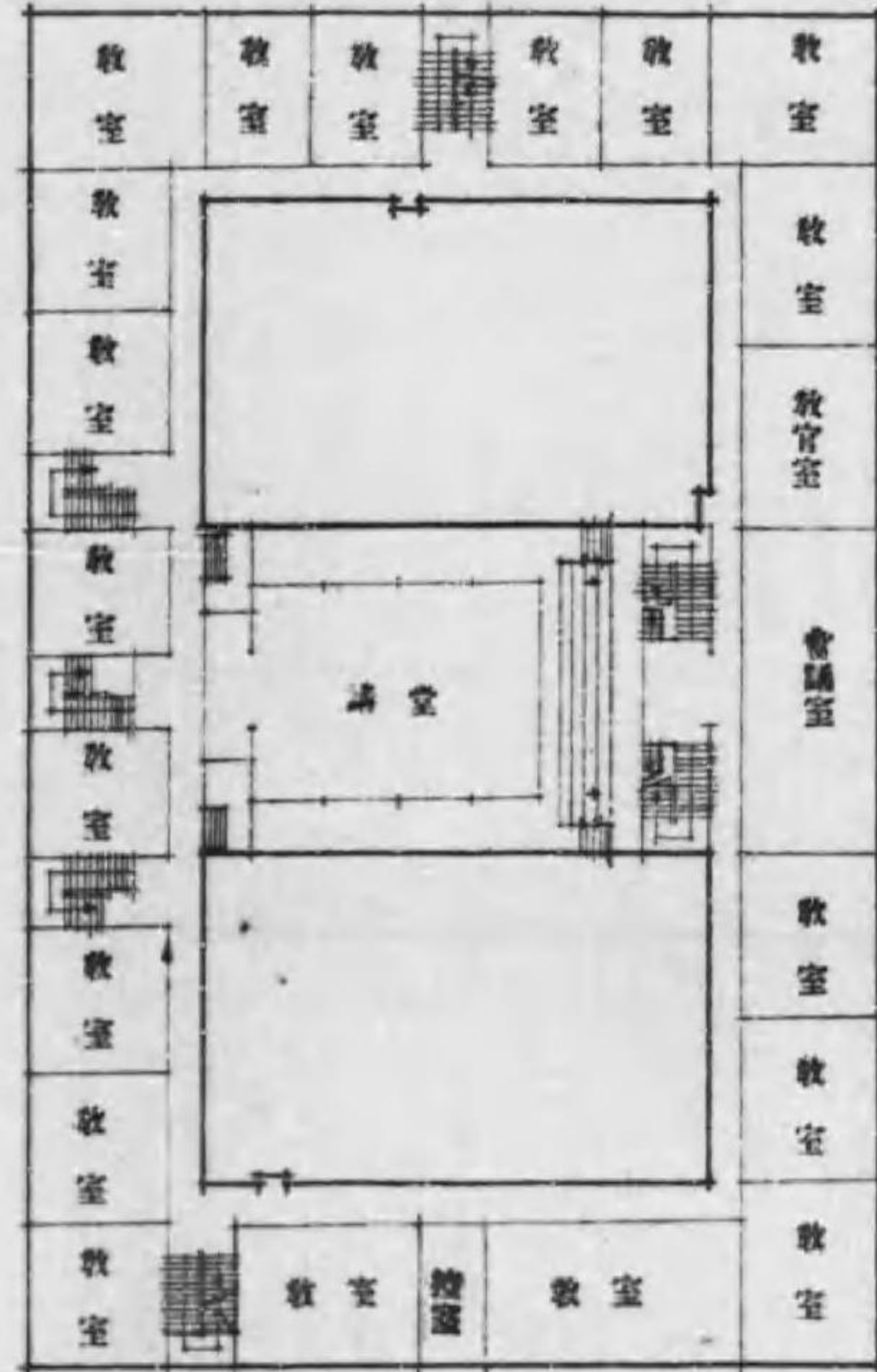
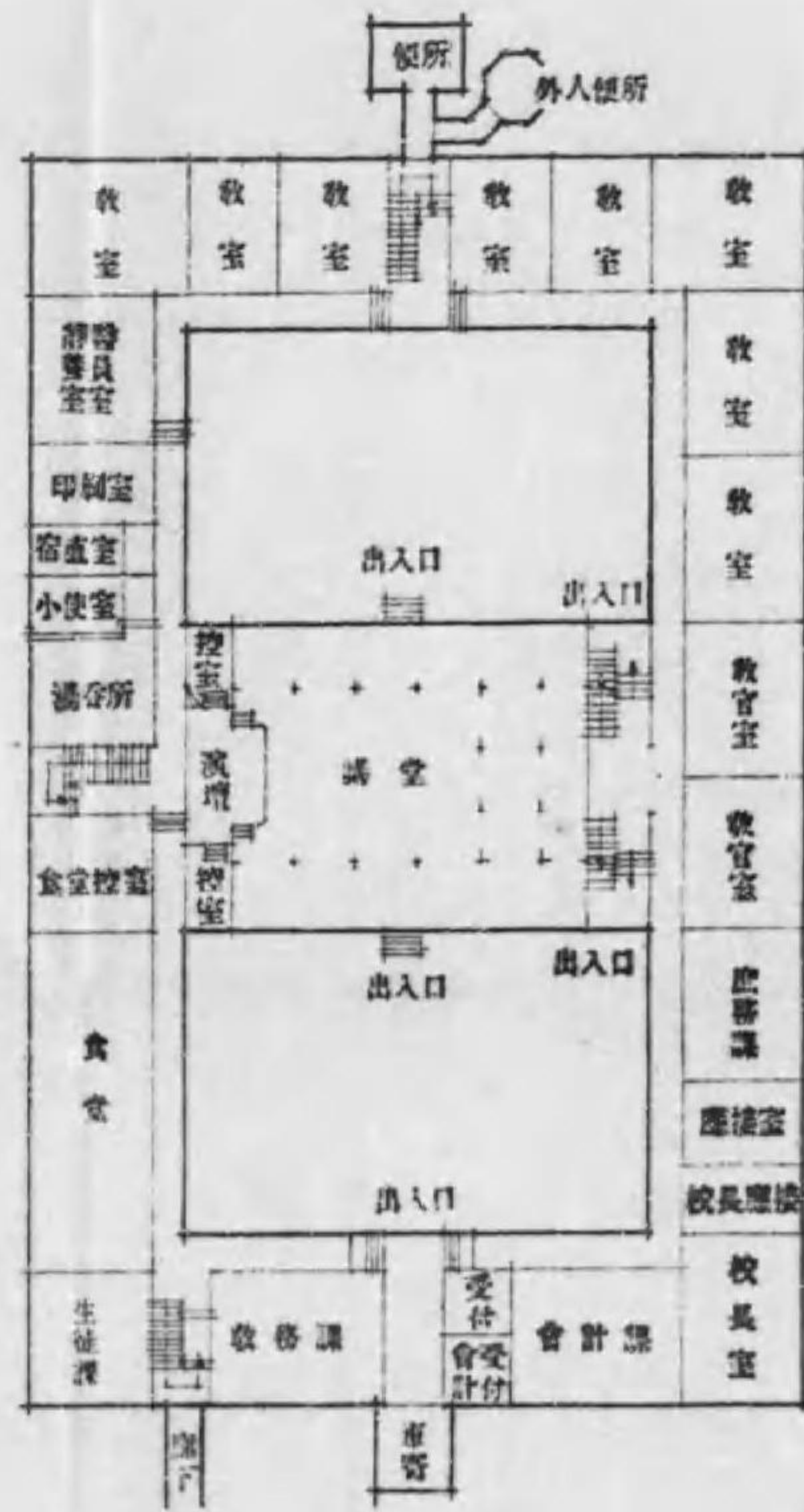
建築物配置圖

本館

第一階

第二階

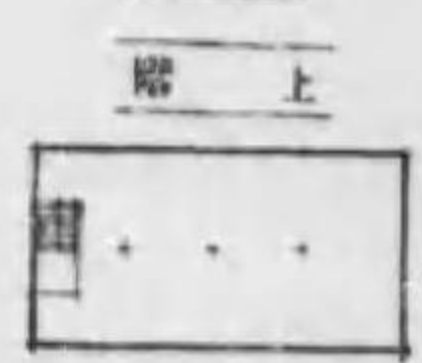
第三階



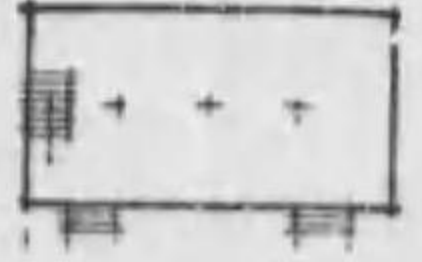
物置



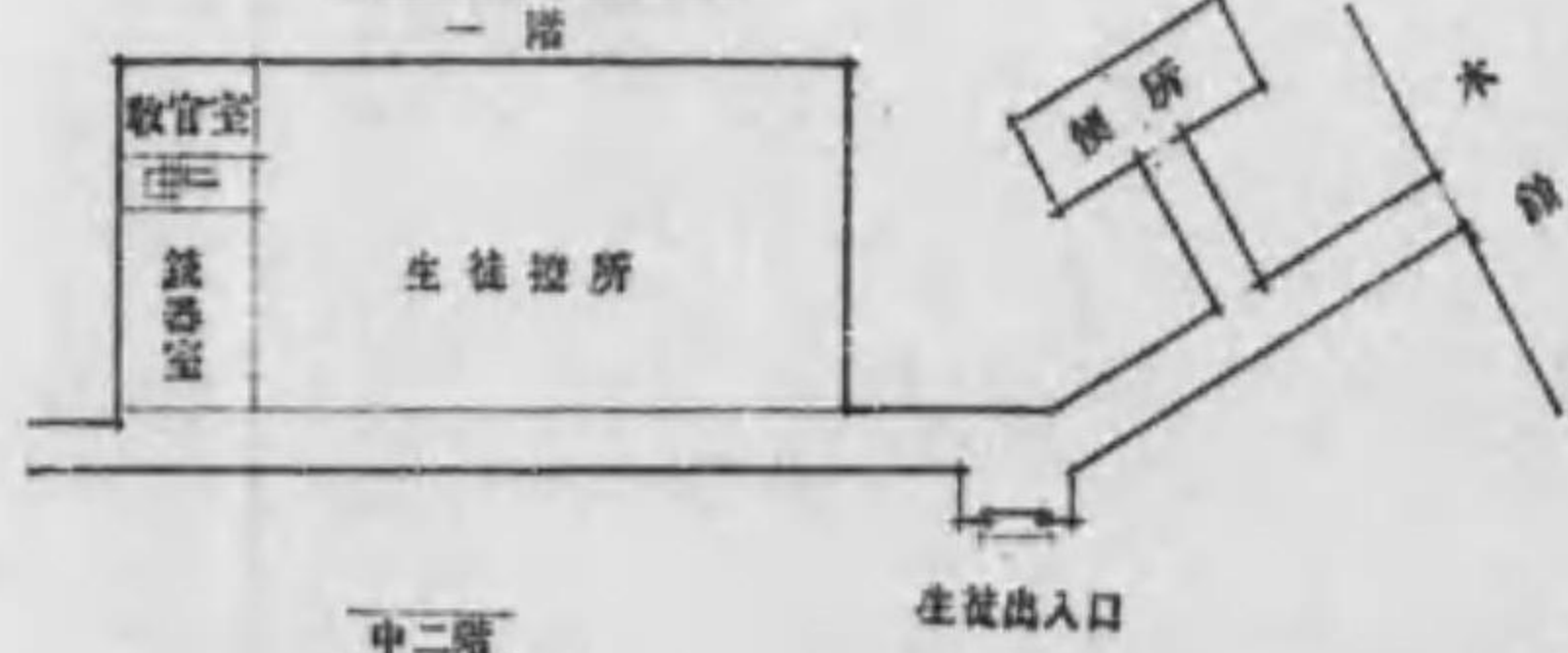
倉庫



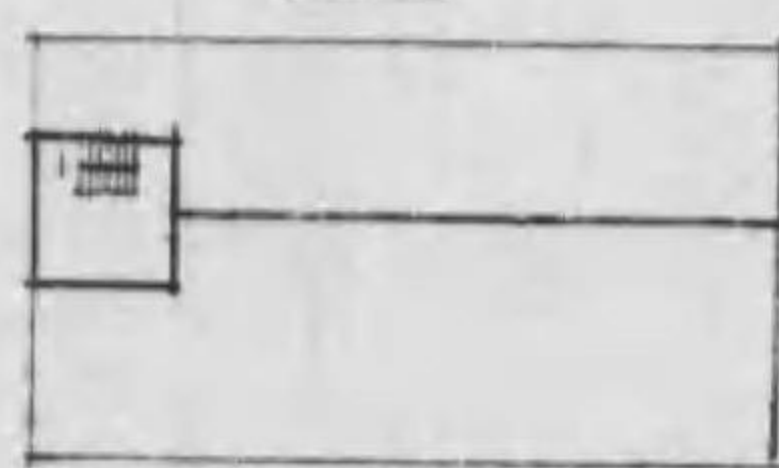
階下



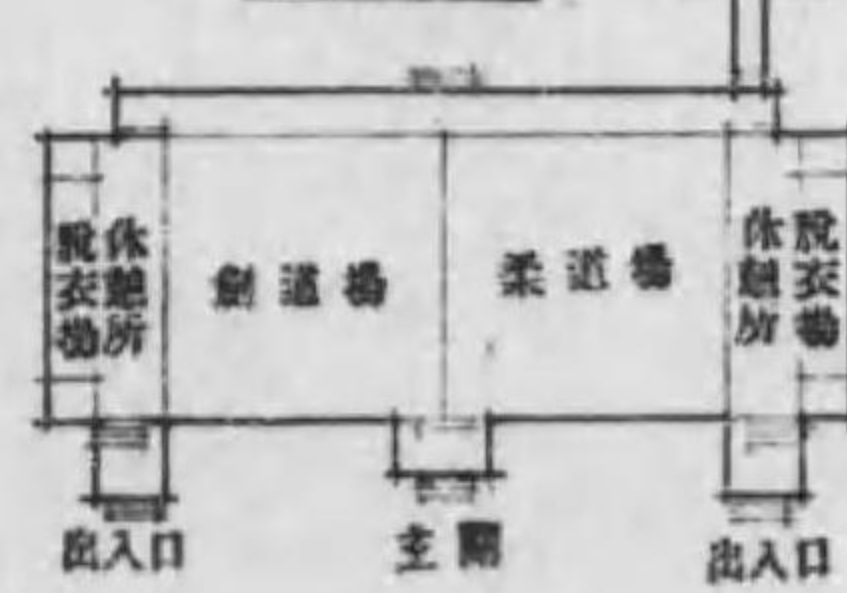
生徒控所



中二階



柔剣道場



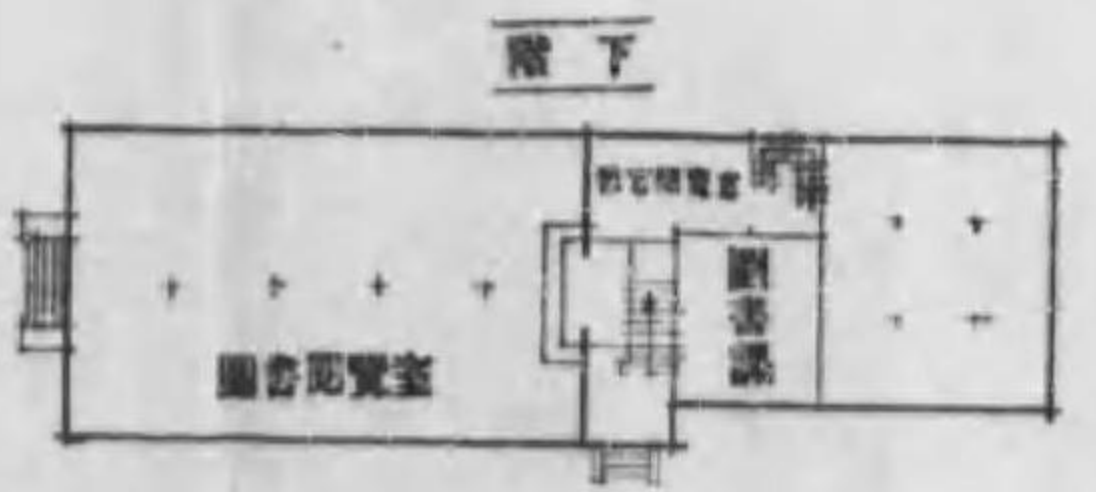
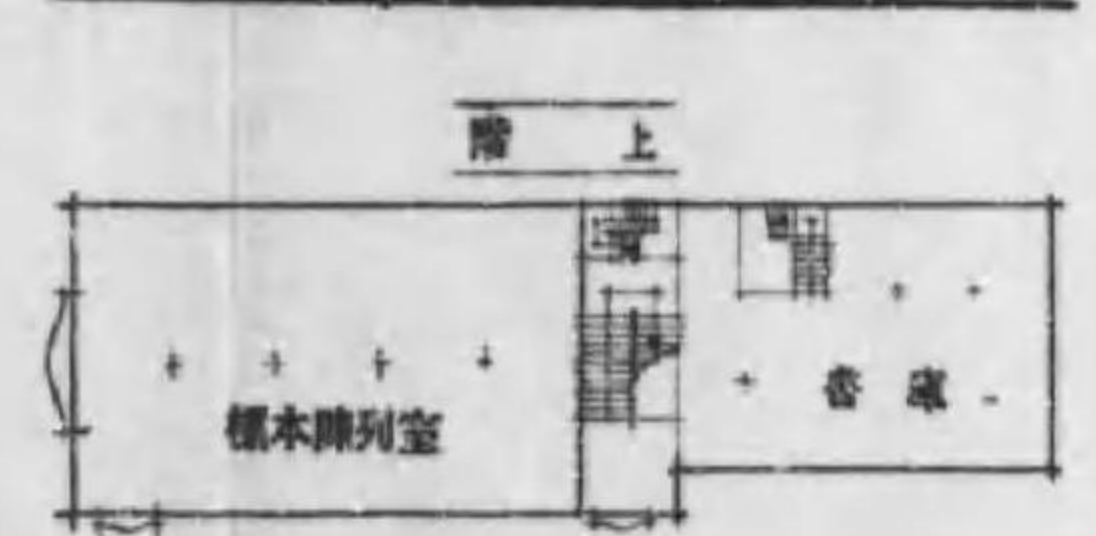
汽罐室



門衛所



標本室 圖書閱覽室 及 書庫 發閱書課



289
750

大正十一年十二月十七日印刷
大正十一年十二月二十日發行

東京外國語學校

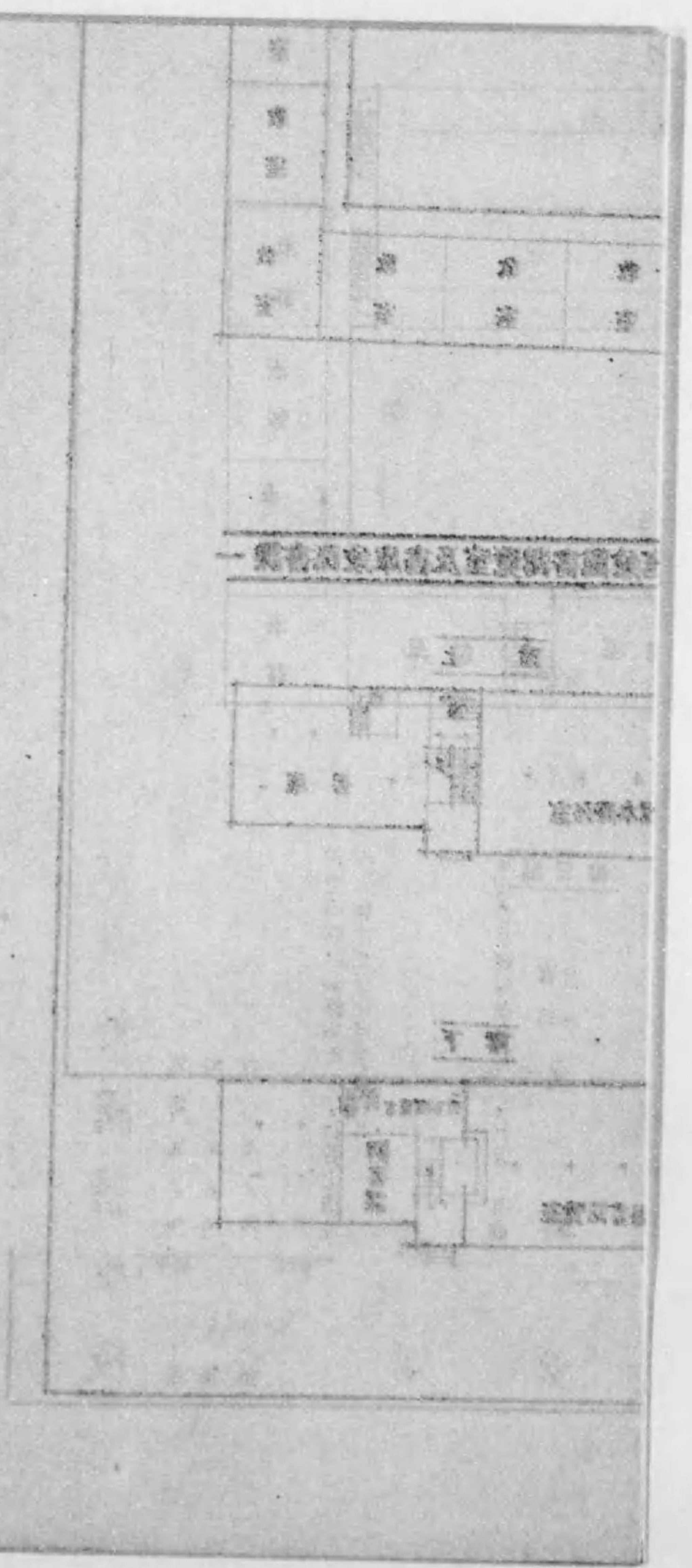
電話 九ノ内一六番
同 九ノ内一七番
同 九ノ内三八番

東京市麹町區飯田町二丁目廿七番地
合資會社佐藤正三商店支配人

印刷者 岸本親章

印刷所 株式會社文祥堂

東京市京橋區新榮町一丁目廿一番地



終

(東京市京橋區新榮町一丁目廿一番地 文祥堂印刷所)